Vol. 35 No. 10,108 Thursday August 1 1940 TAIRIKU NIPPO 昭和十五年八月一日(木曜日)第一万百八號

大陸日報
TAIRIKU NIPPO
THE CONTINENTAL DAILY NEWS
PUBLISHED BY
TAIRIKU NIPPO SHA, LTD.
215 & 215 K. CORDOVA ST.
VANCOUVER, B. C.
本紙定價(前金)
六ケ月 四弗 七拾五仙
半ケ年 八弗 弗拾五仙
發行所 株式會社 大陸日報社
電話 バンクーバー 二一五五
ツリ 五五三三

# 國防國家體制を確立
## 大東亞新秩序建設へ
### 政府けふ基本國策發表

東京一日(同盟)——東亜新秩序建設しつゝ世界平和の確立に邁進せんとする近衛内閣の基本國策は大御聖下直奏去月十九日荻窪の四相會議でその基調を決定し翌二十日閣議決定するや廿三日より一週間に亘る連續閣議において國策大綱を決定し廿七日の大政翼賛及政府の連絡懇談においては統帥府との間に完全なる意見の一致を見るに至つたので愈内閣三機構の手許において

政府發表すべきものである

近衛首相談

政府は國策の基本要項を決定し茲にこれを發表する、本要項は概ね政府自らの今後着々實行すべき具體的施策の基本となるものでありその方向を示さんとするものである、政戰兩略の一致は政府の最も期するところであつて既に過日大本營との聯絡會議も開かれ

英米に依存せず
自給經濟圏確立
小林商相の經濟政策

東京一日(同盟)——小林商相は一日午後記者團と會見し、同日政府が發表した基本國策要項を敷衍し次の如き商工行政基本七項目に亘る方針を明かにしたが特に低物價政策に就いては現存休眠施設を廣く動員して増産に努め、豊富低廉なる物資を供給して需給調整緩和を圖ることが低物價の基礎たることを強調これに必要なる強力指導を行ふ意向なることを言明したことは注目される

◇

(一)日滿支を一環とする大東亞共同經濟圏の確立によつて自給自足の經濟政策を樹て英米初めその他の何れの國にも依存せずして自立し得る經濟圏を獲得すること

(二)これがためには國内に於ける總動員體制を強化し能率の高度發揮によつて物資の増産を圖るとともに生産原價の引下げをなすこと

(三)從來の低物價政策は金融部面より施策せられたが、これらの諸施設と共に物資の方面よりする豊富低廉なる生産を促進する各種政策を併せ行ふを要すること

(四)官民總力發揮の體制を執るために民間をして國策に協力せしめ、その經驗知識の活用に努めること

(五)官廳の新體制を具現するために官廳の組織を簡易ならしめ繁文縟禮を改めて事務の簡易化を徹底すること

(六)生産力擴充に就いては重點主義を強化して特に鐵鋼、石炭の劃期的増産に集注すること

(七)科學振興に關する諸方策を實施して高度國防國家の建設に必要なる技術の増強に力を用ふること

(八)皇國を中心とする日滿支三國經濟の自主的建設を基調とし國防經濟の根基を確立すること

(九)日滿支を一環とし大東亞を抱擁する共同經濟圏の確立

(十)官民協力による計畫經濟の遂行特に主要物資の生産配給消費を貫ぬく一元的統制機構の整備

(十一)綜合經濟力の發展を目標とする財政計畫ならびに金融統制の確立強化

(十二)世界新情勢に對應する貿易政策刷新

(十三)國民生活必需物資特に主要食糧の自給方策の確立

(十四)重要産業特に重化學工業及び機械工業の劃期的發展

(十五)科學の劃期的振興ならびに生産の合理化

(十六)内外の新情勢に對應する交通運輸施設の整備擴充

(十七)綜合國力の發展を目標とする國土開發計畫の確立

(十八)國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二十六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二十七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二十八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(三十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(三十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(三十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(三十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(三十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(三十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(三十六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(三十七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(三十八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(三十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(四十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(四十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(四十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(四十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(四十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(四十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(四十六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(四十七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(四十八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(四十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(五十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(五十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(五十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(五十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(五十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(五十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(五十六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(五十七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(五十八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(五十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(六十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(六十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(六十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(六十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(六十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(六十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(六十六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(六十七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(六十八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(六十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(七十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(七十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(七十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(七十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(七十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(七十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(七十六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(七十七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(七十八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(七十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(八十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(八十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(八十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(八十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(八十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(八十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(八十六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(八十七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(八十八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(八十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(九十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(九十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(九十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(九十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(九十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(九十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(九十六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(九十七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(九十八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(九十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百十六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百十七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百十八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百二十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百二十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百二十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百二十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百二十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百二十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百二十六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百二十七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百二十八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百二十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百三十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百三十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百三十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百三十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百三十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百三十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百三十六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百三十七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百三十八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百三十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百四十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百四十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百四十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百四十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百四十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百四十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百四十六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百四十七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百四十八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百四十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百五十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百五十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百五十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百五十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百五十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百五十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百五十六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百五十七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百五十八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百五十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百六十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百六十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百六十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百六十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百六十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百六十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百六十六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百六十七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百六十八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百六十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百七十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百七十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百七十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百七十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百七十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百七十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百七十六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百七十七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百七十八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百七十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百八十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百八十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百八十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百八十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百八十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百八十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百八十六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百八十七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百八十八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百八十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百九十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百九十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百九十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百九十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百九十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百九十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百九十六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百九十七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百九十八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(百九十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百十六)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百十七)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百十八)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百十九)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百二十)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百二十一)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百二十二)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百二十三)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百二十四)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百二十五)國是遂行の原動力たる國民の資質體力の向上並びに人口増加に關する恒久的方策特に農業及び農家の安定發展に關する根本方策を樹立すること

(二百二十六)國是遂行の原動力たる國民

# 女は泣かず

竹田敏彦（191）

（襲ち者（一））

間もなく年も更まつて、月は二日の午後だつた。

鶴の顔木も、お年前から、年始の挨拶に出かけて、山茶子がひとり、二階の室に閉ぢ籠つてゐた。

月らしい風の吹く時で、しんと落着いた空氣の中に、どこからか梅園に咲いた羽子の音が聞こえ、淋しい邸内は、靜かすぎるほど淋しい靜けさに閉つてゐる。

「すだ、お嬢さんにならないのかしら——」

山茶子は、伽藍の佛壇を見ると、明るくささうに、部屋の隅に身をもたせた。

すぐ眼の前の杜が、一とし深い紫碧の色に沈み、街のどこからか、梅園に咲いた羽子の音が聞こえ、淋しい邸内は、靜かすぎるほど淋しい靜けさに閉つてゐる。

「すだ、お嬢さんにならないのかしら——」

山茶子は、伽藍の佛壇を見ると、明るくささうに、部屋の隅に身をもたせた。

すぐ眼の前の杜が、一とし深い紫碧の色に沈み、街のどこからか、梅園に咲いた羽子の音が聞こえ、淋しい邸内は、靜かすぎるほど淋しい靜けさに閉つてゐる。

「すだ、お嬢さんにならないのかしら——」

山茶子は、ふと思ひ出すと、人妻として初めて迎へる新しい春の物淋しさを感じた。

「去年の正月は、母の喪中だつたけど、博覽會へ行つたり、ドライヴをしたんだわ——」

山茶子は、さうも考へたが、新潟行の旅中には、もつと陽てなく笑け合つてゐた笑が、何うした拍子か家へ帰いてから、不思議と淋木の行動に、秘された謎のやうなものが感ぜられて、昨日のやうに思ひ出される。

「あれが、處女時代の最後のお正月だつた」

山茶子は、うつとりその時分の、平和の情趣を考へてみたが、やはり懐かしい、處女時代だつた。

淋木は、鶴が飛込んだ通り才腕もすぐれ、妻にも優しく、分なく、平和で、新婚生活一月足らず、新妻山茶子の朝夕は、勿論幸福ではあつたが、それでなほ、何か彼女には充ち足りない淋しい心淋びが絶えなかつた。

それも、別に山茶子に對する仕打が、何う變つたといふのではなく、何か直觀的に感ずる相手の氣持の反映で、改めて理由を問糺すには、抽象的な事實は何もない。それだけに、山茶子は、突詰めて訊ねることもできず、鬱憂にひとりで心を遣ふのだつた。

「やはり、それが父を知らずに育つた不幸な生生の影響なのださういへば、やはり母子さんだつて……」

山茶子は、あれはどう變しながら、彼女から見れば、理由もなく辯げ去つた母子のことが思ひ比べられた。

「さうだわ。不幸に育つたあの人の心を、愛情の力で明るくするのが、妻としての務めだわ」

山茶子は、さう考へながらも、相洋お菓子一切
豐富に取揃へて
ございます
バウエル街三五七
鈴木菓子店
電話ツリニ三〇三六
月刊雜誌 寫真畫報

強いて吸ふには
ウイルス・フアイン
カットに限る
質の良いヴアヂニヤ葉
はマイルドな口あたり
がして何とも云へない
フレーバーがあります
ポケットには
二十個及十五袖包を
家庭には經濟的
な半斤入罐を

やはり何か物足りなかつた——

由茶子は、今も、處女時代の思ひ出から、ふと、そんなことを考へてゐると、

「あの、駒込の青年樣が……」

襖が開いて、女中が知らせた。

「あら幹男さんが……」

由茶子は、思はず救はれたやうに立上つた。

# 塚原卜傳（74）

金井小蘆洲

伊勢守は笑を含み、

「イヤ〜小太郎、その禮には及ばん、師弟、同門の交誼として當然のことだ。天は昭々として眞を照らすとか申す。誠に佐竹彈正を討取り、父兄を始め一族一門の仇を報いることが出來るであらう。急がず時節の到來するのを待つやうに」

小「御教訓有難く存じます」

藤田柳助も手厚く介抱を受け漸く氣力も回復しましたから、喜んで一同に禮を述べる。その内に船は大利根を上つて下總の川岸に着きましたから、陸路を筑波に立戻りました。

佐竹彈正は、柳助をとりに使つて、塚原小太郎を誘き寄せるといふ計畫は圖に當つたが、結果は甚だ不成功に終り、意外の助勢が現れて、塚原伯父甥を助けて逃れてゆかれてしまつた上に、眞心の家來高柳、淺山の二人を討たれ、その外百名ばかりの死傷者を出して、大變な損をして終ひました。

さて塚原小太郎は一旦筑波の道場へ赴きましたが、こゝに滯在をしてゐて恩師に迷惑がかゝつてはならないと思ひましたから伯父の柳助を同道して、越後國春日山の城主上杉謙信の處へまゐりました。これは前申上げたる通り親戚の間柄、一伍一什を物語つて柳助を預かつて貰ふやうに頼みました。謙信固より快く承諾をして呉れる。こゝにをれば何が來たつて驚かない

佐竹彈正が惡さしりをしようが地團駄を踏まうが、指をさすこともで來ません。足手纏ひの權頭の妄金を計れば、モウ小太郎は自由に飛んで歩ける、遠い越後國にゐたのでは、敵の消息を知る如が出來ませんから、小太郎は越後を出發して、江戸へ乗込んで來ました。江戸の小石川に島村小才次といふ者がをります。これは郷士でございますが、この小才次の姉が、小太郎の兄帶刀の奥方でございました。されば太郎と小才次は義兄弟の間柄。この島村方に足を留めてをりまして佐竹彈正の動靜を探らうといふのですが、小太郎自身が笠間へ乗込むことは危險であるし、また誰が行つたにしろ笠間の城下をうろついて見る位のことでは城内の樣子が知れるはずがない。……（續く）……

◇通辯一般代理業
日本行船切符取次
濱岸事務所
アレキサンダー街二四〇
電話ツリニ四三七四アール

氷
氷西瓜　寒月
白玉　字治
金時　イチゴ水
多少に拘らず出前致します
メーン街二一七
電話ツリニテ
長谷川
二九七

◎野一色電氣治療機
電氣療法が保健に如何に卓効あるかは皆樣よく御存じでせう
皆樣の御家庭の主治醫として
是非一臺は御用意下さい
一臺　四十弗
現金お支拂ひに限り特に一割引
バトリー　角、丸共　一、五〇
その他附屬品
説明書、實驗談御希望の方は一定の數に限り無料で差上げます
バウエル街三六九　電話シー五二一八—五二一九

各種製箱業
御注文に應じ如何樣にも製作致します

生菓子類一切
最新式ソーダスト バナー 各種あります
せんべい
何でも揃ふ 前川商店

VANCOUVER PACIFIC PAPER CO. LTD.
紙の御用は當會社へ
包紙、紙袋、色紙、油紙、トイレットペーパー、其他ペーパー類一切及文房具種々
ピクニック用紙皿、紙カップ、ナプキン色々
（ミルトン街一一六八）
晩香坡パシフイック・ペーパー會社
日本人部代理
堀壽次郎
電話 本社マリン二三一一 自宅ハイ三八四四アール

造船及修繕
日發デーゼルエンヂン總代理
スタンレーパーク造船所
久岡文治
晩市西チョーチャ街一九六九
電話マリーン九九二五

奉仕的割引
△弊社は創立以來過去廿八年間の日本人諸氏の御愛顧に酬ゆるため
新割引値段
を提供することに致しました、何卒御引立の程御願申上ます
料金は五十弗、七十五弗、九十五弗以上
晩市ダンレビー街三〇四
アームストロング葬儀社
電話ハイランド〇一四一

オイル・ローヤルテー賣物表
各年利三割以上
グロスローヤルテー
ローヤル・カナデアン第四ウエル
バルカン・ブラウン第一ウエル
ブリテッシユ・コロネル
オイルローヤリテー賣買は信用ある
グレハムマクドナルド日本人代理部
クリフトン・シ・クロス（BC）株式會社
晩市バウ街四七五
電話ツリニテー五七六四

△天好に惠まれて近年に無い豊作、摘始め八月十八日頃早いので學校生徒に好都合△キャビン整備、清水飲料の特長キャビンの都合上早く申込下さい△摘みちん決定次第發表
ファガハップー、ハルバアトハップ會社人員募集代理人
西第九街三〇八四　ペエビユ六七一七
岡野福藏
申込所　市内パウエル街西村商店　同四三七
△ヒップス堀部彌市氏△西第四街一五三九　高木安太郎
△西五街三〇七フエヤモンド五八九〇　岡田治作
街一六六前田勝藏△新西院福永權市　丸橋商店△同五
宮川岩次郎　友光治一△ラスキン田原林藏△ネー田中
總七、難波豊登、田村重兵衛△ハモンド伊藤勝太郎岡橋增藏

ハップス摘み人員大募集
△天好に惠まれて近年に無い豊作、摘始め八月十八日頃早いので學校生徒に好都合△キャビン整備、清水飲料の特長キャビンの都合上早く申込下さい△摘みちん決定次第發表
ファガハップー、ハルバアトハップ會社人員募集代理人
西第九街三〇八四　ペエビユ六七一七
岡野福藏
申込所　市内パウエル街西村商店　同四三七
△ヒップス堀部彌市氏△西第四街一五三九　高木安太郎
△西五街三〇七フエヤモンド五八九〇　岡田治作
街一六六前田勝藏△新西院福永權市　丸橋商店△同五
宮川岩次郎　友光治一△ラスキン田原林藏△ネー田中
總七、難波豊登、田村重兵衛△ハモンド伊藤勝太郎岡橋增藏

小生側過日右腕の骨を折り早速林醫士の診察所僅か一週間にて全治致し林醫士の折骨打撲に對し卓越なる技倆を推稱し感謝しました林病臣醫士は新傷麗物筋痛捻骨皮膚病一切及神經痛附節の痛等に獨特調製に依る藥は實に偉大の効力がありまして何とも云へないフレーバーがあります
又打撲傷や捻骨筋違い等には長らく經驗ありて如何なる重傷にても速かに全癒する事は實に日本人間にも熟知の通り若し右の樣な際は早速林醫士の來訪を御願する事を御勧め致します
特別に日本人を歓迎優待し親切に治療致します
スプストン
秋本重則
東ベンダー街九一
電話シーモーア二四九一
恭頌林病臣妙醫

高等南京料理
日本人諸君の御來店を歓迎
晩市パウエル街二五二
新北京
電話シー五七七四

◈和洋雜貨食料品
晩香坡市パウエル街三三七
蛭崎商店
電話ツリニ〇九九一

自動車修繕
グッドリッチタイヤー
附屬品一切
ボンテアツク、ビューイツク、ジ・エム・シートラックの特約販賣店
晩市アレキサンダー街ゴア街角
日本オート
電話ツリニテ　二八九九

大勉强で御用命に應じます
自動車修繕
附屬品販賣
晩市メーン街及アレキサンダ街角
晩香坡オート・サービス
井上清治
岩崎章
電話ツリニテー四三四四

日本郵船 C.P.R.
アメリカンライン
日本行船切符
C. P. Express
Money Order
販賣代理店
貯蓄正金銀行預金
送金無手數料取扱
晩香坡市パウエル街二五三
カマボコ製造
BC魚店
電話ツリ二七八八　夜間シー三五三八

米精和洋食料雜貨食料取扱
新西院市
西口商店
電話 登壇六一一八八五
住宅九〇九X

秘便
古便の悲劇
呼吸は悪臭く、容色衰へ
胃腸は弱り、頭は狂ふ
それは腸内にたまつた古便が暑さにひれて腐り恐ろしい毒素を醗酵し此の毒素が血液に入つて體内を思ふ存分に荒らすからです
……むさしヨーソ……
古便が一夜で快通の喜び〜
こんな方は一刻も早く
○便秘が續き焦々する人
○下痢するくせに便の出切らぬ人
○食慾進まず痩せ衰へる人
○胸つかへ腹鳴り舌コケの人
○食後胃が痛み氣分惡しき人
むさしヨーソ　一、五〇　三、〇〇
晩市パウエル街三三一
特約店　新見商會
電話ツリニテ

自轉車 各種
特に少年用として廿四弗のもあり
◇テニスラケット◇キー作製◇電球
パラード街二四一五
電話ペビユ二〇四六
ターメー自轉車支店

N. Y. K.
1040--4th Ave., Seattle. Wash.
新造優秀豪華船
八幡丸
ホノルル經由日本行
九月廿一日晩香坡出帆
世界に冠絶する我國造船科學の精髄を究め優秀なる各種工業並に裝飾美術の協力の下に現代我國の科學、應用藝術の最高標準を象徴する國産船八幡丸は皆樣の御船であります
多幸を祝福せられて居ります處女航海に是非御乗船光輝ある皇紀二千六百年の祝典が擧行せられます菊花薫る母國御訪問を切に御勧め致します
日本郵船會社シアトル支店
代理店　晩市 B.W. Greer & Son Ltd.　晩市 Great Northern Railway

味噌、醤油、清酢
糀、納豆、糀漬
天野兄弟商會
製造販賣元
晩市ダンダス街二二四一
電話ハイランド五五二六

ペイント
ハウス用
ボート用
只今特別大勉强
大安賣中
大特價にて奉仕
晩市メーン街二〇八
ビーシー金物店
電話ツリニテ五五三六
多少に拘らず御用命願ひます

赤色ローズ印
加州白米
最も質良く炊き易く
味は日本白米に劣らない
加州白米です
是非御用命御食味下さい
ユニオン魚店
晩市パウエル街四六九
電話ハイ〇三三五—〇三三六

# 日本の戰時新生活を語る（一）

## 七・七禁令の狙ひ所
## 贅澤を恥ぢさせよ！
### 特動に『全廢委員會』を設置

——出席者——
（いろは順）
内閣書記官長　平井農夫
内閣情報部長　佐藤賢了
大政翼賛會事務局長　中野正剛
代議士　中野正剛
同　中島知久平
同　中島知久平
同　中島知久平

# 日本の對英行動が オタワ議會へ飛び火

## 『日英戰を望むか』『ノー』

日本に於ける英人撤兵事件は外交問題となつてカナダにも波及し、殊に盛んに煽られて居る死んだコックスを初め英人撤兵者がいかにも侮辱の理由なくして撤兵せられたかの如き印象を與へ、日本の英人侮辱とみてゐるやうだが、國内でも此の問題はオタワ議會にも反映して昨日の議會ではレーレー氏等のコールドウエル（フォード）を攻撃したので知られる。

カナダは英國に對する日本の軍需援助を止めよ

と叫び、議場に相當騒がしかつたとオタワ電報は傳へてゐる。

◇

キング首相はコールドウエルの發言に對し慎力を否定し

コールドウエル氏はカナダが日本にたいし軍需品を輸出し日本の軍備を援助してゐると云つてゐるがカナダは出來るだけの平政を出ぬて日本への軍需品輸出を止めてゐる、現在英國が日本に對し輸出を続けてゐる品カナダとしては鋼物の輸出は止め得られない

と言つた

◇

コールドウエルは日本の武力は英國や我等を攻撃することにならう、本洋に於ける日本の勢力は危險カナダを危險ならしむることになる、何故かくの如き日本の軍備に援助を與へるのか

キング

決して援助をしてゐない、所でコールドウエル君は日本と英國が戰爭することを望むか？

コールドウエル

ノー、我は只カナダは日本へ軍需品を送つてはならぬと云ふだけである

そして此のシーレー氏は日本が極東方面の日本人が國防上重要視して地を所有し又は支配してゐる云々の話をもち出し大いに無視しなければならぬ事だと云つてゐた、こんな事はコールドウエルよりも政府の方が事實如何をよく知つてゐる筈で問題にしてゐないやうである

◇

なほコールドウエルは國防に關して米國の關係事情を質すところ、

カナダは米國の作戰基地の爲め土地なども提供するプランがあるか

と質問、キング首相は議會で斯くの如きデリケートなことを公表し得ずとハネつけた

# 東京スパイ事件 デマの源は英大使館

## コックス遺書問題

東京一日（同盟）——コックスの殺害を始め在留外國人が極度にデマ放送を行つた事に關し東京憲兵隊では昨夜米國エービー通信社東京特派員モーリンに出頭を求め何かなる筋から斯の種の流言飛語を得たかにつき詳細に事情を聴取したが

その結果デマ放送の源は一國を代表する政府機關である英國大使館であつたといふ驚くべき事實が判明、今迄の如く黙過し得ぬ事態となつてゐる

即ちモーリンが行つた『遺書は人の筆跡がコックスのものではない云々』といふデマ放送の出所につき昨一日夜モーリンが憲兵隊に呼出されたところによると

廿九日夜の英國大使館二等書記官ゴアブースから電話で『この情報は事件直後現場に駆せつけて遺書を見た東京領事のコーレーから聞いたものだから間違ひない』と必へられたといふのである

然るにコーレーはコックスが飛び降り自殺を図つた直後東京憲兵隊に駆せつけ遺書を見せられた時『非常に急いで書きましたね、字はよい證據になります』と流暢な日本語で係員に語り、コックスの筆跡である事を確認して大使館參事官のカニンガムも事件直後現場に至り係員からコックス飛び降りに至るまでの事情を詳細に説明を受けて帰つたのであるからゴアブース書記官初め英國大使館が事件の眞相を知悉しながらモーリン初め外國通信員に對して故意に事實を歪曲した情報を與へたといふ事は明瞭たる譯で、當局では苟も一國の政府機關たる大使館に於て斯かる事實歪曲の卑劣手段を以て謀略を行ふ如きは言語道斷であると憤慨してゐる

# 政府の新聲明と 日本の經濟界

## 財界は乘り氣

東京一日（同盟）——政府の基本國策要綱の發表によつて財界政策の基本的指標が明確に示されたので財界方面では今後同さるべき經濟機構側確立の時局に協力すべき態勢を示すに至つた、即ち近衛内閣成立以來統制經濟の行方經濟機構は國防國家體制に伴ふ經濟機構の再編成への体制を整（つゝあつたが、今回の基本國策により明かにされた大東亜共同經濟圏確立、我國經濟の外國依存性の脱却こそは既に經濟界自体に於て國際の要務として機會ある毎にこれを要望してゐたところであり、更にこれ等諸方策の前段的措置たる主要物資の生産配給、

# 駆逐艦二百隻でも 英國なほ不足

## 防戰に轉手古

ニューヨーク一日——米國の軍事消息通ハンソン・ボールドウインは昨日獨海軍の相次ぐ英艦船撃沈の結果英國は今や艦船塊底の重大危面に立つてゐる點を次の如く述べた

（一）最近英商船の獨軍による撃沈噸數は漸次增加し七月初め三週間に於て一日平均三隻（一萬二千噸）の割合で撃沈されてゐる

（二）英國は獨軍の攻撃によつて商船護送、沿岸哨戒乃至は英佛海峡、英國東部沿海に於ける海戰に適應せる駆逐艦並びに哨戒艇、快速艇の如き小型高速艦艇の重大なる不足に直面せしめられてゐる現在英國の水雷船隊は百七十五隻乃至二百隻からなつてゐるが、その中百隻以上が英本土防衛に當つてゐる樣子だが、而もその中に二十五隻乃至五十隻は目下修繕乃至はオーバホールのためドック中にあるものと思はれる

また英國の飛行機製作は勿論並びに質に於て著しく減退し獨空軍の規則的對英連續爆撃の結果幾多の困難が生じてをり、七月中のエンジン、飛行機製作率は前月の數字を超し得ない有樣である

# ロシアは 參戰 せず

モスコー一日——本日開催のソ聯最高會議席上外務人民委員（外相）モロトフは

ロシアは今次歐洲戰爭に對しては依然方針變らず飽迄中立を守ることを茲に再び確言する、ロシアは戰爭に介入することを望まずと演説した

# 英國驅逐艦 又も沈沒

英國驅逐艦デライト號はドイツ空軍の爆撃を蒙つて沈沒した旨昨夜英國海軍省は發表した、これで開戰以來英驅逐艦の沈沒は二十八隻となつた、溺死者も相當あつた模樣

# 非友誼的 行爲

## 大熊大佐談

東京一日——米國が飛行機用ガソリンの外國輸出禁止の擧に出たのに對し海軍省スポークスマン大熊讓大佐は

米國が飛行機用ガソリンの輸出を禁ずることは明かに日本に對する非友誼的行動であり此の結果何らかの形で反撥的な手段がとられるものと思はれる

と語つた

◇

昨紙報道の如く今回のガソリン禁輸は南北アメリカ大陸以外への輸出を禁ずるもので其の影響を受けるものは日英獨伊ロシア等であるが日本を除いた他國は米國以外から輸入可能であるから結局日本が一番困ることになる、なほカナダは自由に輸入出來るのであるが表面上の規定によるとカナダの輸入した飛行機用ガソリンはカナダでのみ使用されることを明言せねばならず英國への輸送を封することになつてゐる

# 豫言の地震 死者千人

晩香坡の地震豫言者が豫告した地震の一つはトルコに起つたが本日までに判明した死者は一千人以上、負傷數千人に上ると本日のアンカラ電は報じてゐる

◉健康相談　明晩入時より九時半迄日本人健康相談所（東ベンダー街四七四）にて診斷を行ふ尚來週は休む事になつてゐる

◉中村君放送　中村哲君は明金曜午後八時半より九時迄シーケーエムオー局から歌を放送する

# 本日から 酒類の値上

## ウイスキ類

ビーシー州政府酒類管理局はいよ〜本日からウイスキー數種日本酒、ブランデー、ラム、ジン等に亘り一齊に値上げを斷行した

# この頃の話題

全カナダを通じて國民登録がいよ〜本月十九日から行はれるが、相當こみ入つた質問があるので、恁うしたことに馴れない日本人は大分まごつくことであらう。幸ひ晩香坡では東部區及び南部區では日系第二世が登録係として、また中央區其他では通譯として奉仕するとの事だから、洵に便宜ではあるが、それにしても豫め、年齢、西暦生年月日、家庭扶助の關係、何時この國に來たか、歸化人なら何時歸化したか、其他必要なことはよく記憶して置いて、すらすらと質問に答へる事が出來るやう用意して置く事が肝要であらう。尚この登録は國民總動員關係方面以外には絶對に秘密にして置く樣であるから、如何なる境遇の人でも心配はいらぬ

◇

また この登録に奉仕する日系二世を、日系市民聯盟晩香坡協會で求めてゐることは既報の如くであるが、また申込者が豫定數に大分足らぬとの事だから、日本語の判る二世は進んでこの登録に奉仕して一世のために便宜を圖ると共に、戰時下カナダのこの仕事に協力することは時節柄日系二世として意義あることであらう。

◇

國際情勢の紛糾からカナダ在留同胞社會にも多少憂鬱な空氣が流れてゐるが、併し我々はこんな場合徒らにしづみかへり、お通夜に行つたやうな氣持で毎日をおくることは禁物だ、せめて日曜日位は浩然の氣を養ふことが必要であらう。ゴルファーならリンクに出掛けて『みーす』掘りをやるのもよからう、釣天狗なら海や河に出掛けて大公望をきめこむのもよからう、また一家眷族で郊外にくり出して宜い空氣を吸ふのもよからう、一週に一日位の命の洗濯は是非必要であらう。

◇

ところでこの頃巷を流るゝ噂話によると、嘘か眞か知らぬが田舎の方面で、大變に金の儲かる人々が憂鬱のうさ晴らしにいろ〜と金を費ふ方法を工夫して、相當莫迦げた保養に撒き散らしてゐるといふ事だ。兎に角この頃はベースメントからドイツの大砲が束になつて出て來たやうな流言蜚語が所々に流れてゐるので、こんな話も出鱈目ではあらうと思ふが、萬一それが事實ならこれは一つお互に注意して、この機に大地に根をおろす用意が必要ではあるまいか。

【山本倫由】


夏物特價セール
▲ベビーシュー　〇…四　五〇　特價　四〇
▲子供シュー　五…七半　一、六〇　同　一、三〇
▲ガール白靴　八…十半　二、〇〇　同　一、七〇
▲子供白ランニングシュー　五…十　同　四五
▲ボーイ白ランニングシュー　一…五　同　一、一〇
▲婦人白靴　三…七　二、七五　二、九五　三、五〇　同　二、二五
其の他何品に拘らず大安賣致します
晩香坡市パウエル街三三八
加藤靴店
電話シーモア八六一九

—電話表—
本年度邦人新電話表は目下本社印刷部にて作製中でありますが
新設
變更
英語名義
電話は何卒至急御通知下さる樣希望致します
大陸日報社營業部
電話ツリニテー五五三三

八月四日より
電話番號
マリーン〇九三七
に變更致します
—御利用願ひます—
良品　廉價の　グロセテリヤ
松宮食料品店
パウエル街二三五　電話シー三五九七

日本行各汽船切符販賣
日本郵船、シーピーアール
▲再渡航證明、移民官手續、妻子及使用人呼寄手續
▲出生、死亡、婚姻等屆書、加奈陀政府出生屆手續
▲歸化證にて當國旅券下附及妻子呼寄手續其他一般代理
晩香坡市パウエル街二三五
中山義一事務所
電話ツリニテー〇三九四
住宅バイ二二〇七アール

Manufacturers Life
○御子樣の貯蓄心涵養のため
○御兄樣の結婚費用蓄のため
○他日事業の資金に當てるため
○來るべき老後の準備のため
○御家族の生活安定保證のため
當會社は世界卅二ヶ國及日本の大都市に支店又は代理店を有します
マニュファクチャラース生命保險
晩市アレキサンダー街三〇二　電話ツリ〇二八三
代理　信夫保險事務所
日本人唯一の保險士　信夫三郎

大勉強
晩香坡市パウエル街二六八
杉山運送舍
蒼天野運送
電話ツリニテー二〇五九

「わさび」の理想的最新根治藥
◇外用「蘭香」絶對無害安全用法簡便爽快（三、〇〇）
○にきび吹出物皮膚病に…「ヒフチャージ」五〇—一、〇〇
△寫眞機フイルム
△現像燒付引伸し
△文房具小間物類
△通信御注文歓迎
文化商會
パウエル街二五〇電話シー四〇八七

サラダと れ酢のものに
アワビ水煮　一鑵　三五仙
エビ　同　同　二三仙
貝柱　同　同　二八仙
カニ　同　同二五　三五仙
タラ　同　同　一〇仙
順才　一瓶　二〇仙
優良品を最も安く
香村商店
パウエル街二六九電話ツリニテ〇〇九二

ミウチアル生命保險會社
日本人部　ロイ山村

ピアノ教授
御結婚式お支度
長襦袢短襦袢無機械及新式ミシン入荷
日本振袖
助
松岡久枝
ラヂオ修繕
如何なるレヂオでも丁寧に

# 英國とアメリカ——日本と何事か起るか

## ロンドン電報は日英の危機と報ず

## 米國も日本を理由に軍擴

日本の對英態度は最近顯に強化され、ビルマ・ルート閉鎖で英國が屈して來るか知れぬ問題を持たへ、また敗日來日本に於ける英人撤退の出るなど英國にしてみれば踏んだり蹴ったりの日に重つて居るかの如く解釋されて居り、かうした事情の突発に今後は本日新内閣による日本國策に關する聲明が發せられ、其の聲明によつて日本はいよ〳〵伸展度を深め及びオランダ領印度に勢力を伸ばすものと外電は傳して居るなど、英米は無無でない不穏にあると傳へられる

### 日英の異變說

本日のロンドン電報は次の如き本報を伝へてゐる、即ち英國當局は本日に至り日英關係はいよ〳〵重立つて來た日本は武力的行動に出ずに飽迄ケチなまで進むことを繰返して居るらしと云々

英國は今無無でない——といふのは歐洲戰爭で若しドイツが勝つて英國敗を手に入れた場合を考へると大西洋は大西洋でなくなるからであると云ふにある、而も本洋に於ける日米關係は決して面白いものではない、米國が支那問題でケチなまねをするから日本が內々憤慨して今日の姿を醸し出してゐるもので自から出たサビみたやうなものだが、因はいづれにせよ日米關係に響するかはれとするも太洋の波は何時怒濤化するか測られない、ドイツが勝つて東から、日本が西から迫るときアメリカも黙ては居れなくなるのだが、昨日米國陸軍長官スチムソンは次のやうな事を大陸軍委員會で述べた

英國は今後一ケ月保てば征服される場合を米國は眞實に考慮に入れてかゝらねばならぬ

英國大艦隊がドイツの手に入つた場合は如何しかも太洋の彼方には獨伊軍の一大決戰に上を下への最後的準備を整へてると飛電があつた

我等は國防の第一線と云ふも

はどうすればよいのか、今日

のに一大改正を加へねばならなくなつて居る、ドイツが英艦隊を撃滅すればドイツの艦隊は米國海軍を凌ぐことになるではないか、その上建艦設備は米國に比して六倍の能力を持つことになる、米國は既に重大な教訓を受けつゝあるそれは今の米國のやり方（義勇兵制度を含む）なぞは駄目だと云ふことだ、どうすればよいか、即ち米國は徴兵制度を斷行し陸軍を強化すべきである

## 英國一ケ月保てるか

## 米國も大アワテ

### 腹背に日獨迫ると

### 天候は今絶好

### ヒトラー遣るか

英國周圍の天候は昨今段々よくなり攻めるには今が絶好の時機となりつゝある由、ヒトラーは

◆總攻撃の命を下すか、そもいつ夫れが敢行されるか、世界は北海に目を集めてゐる、英本國でもドイツの進攻は今日か明日か一週間の後か、兎も角もいよ〳〵迫つたものと覺悟し世紀の一大決戰に上を下への最後的準備を整へてると飛電があつた

### 町の主要話題

ヒトラーの英國進擊話も多少鼻

についた形で昨今の當地日本人間の中心話題は日本を核心とする英國及び米國とのデリケートな關係である「戰爭になるかな」「イヤ戰爭にはならぬさ」が挨拶の通り相場、今後ドウ展開するか重大關心が拂はれてゐる

人から頼まれたものである由だが、今後在留同胞は期の如き事件が起らないやうに注意する事が肝要である

チャーチル英首相

## 禁錮一ケ月に罰金二百五十弗言渡

### 日本人は注意せよ

此の委員會は滿二十一歳から三十一歳迄（別案は十八歳から六十四歳迄）とあつたが否決の徴兵制を採擇するに至つたのだ、約一千二百五十萬人に該當するが合格者四百五十萬を徴集し得る見込みだと云ふ

既報の如くカナダ爲替管理法違反の廉で先般平安丸から連行され昨朝警察裁判所で有罪と決定したオーシャン・フォールスの杉野食義氏に對する刑の宣告は今朝警察裁判でマセソン判事から次の通り下された

（一）爲替管理法違反として罰金二百五十弗、外に裁判費用十弗六仙、若し罰金の拂へない場合は体刑六ケ月

（二）檢閲を受けない手紙を所持した廉で禁錮一ケ月

宣告に當りマセソン判事はカナダは戰爭狀態にあるので戰爭遂行のため法律を守らない者は自分としては最高の刑をかけるに躊躇しないものであるが、本人はこの法律を知らなかつたので情狀酌量して前述の如き刑に附す

旨の申渡しがあつた、尙ほ檢閲を經ない手紙を所持してゐた件は罰金では濟まないので一ケ月の体刑を申渡されたのである、聞くところによると本人の所持して居た多數の手紙は何れも知

### 天候は今絶好

### ヒトラー遣るか

### 町の主要話題

ヒトラーの英國進擊話も多少鼻

### 日米の諒解を切望

ニューヨーク——（福本大毎特派員發）米國大統領候補ウィルキ

## 陸軍八月定期大異動

### 梅津美治郎と山田乙三兩將軍

### 陸軍大將に進級す

大尉に御進級の三笠宮崇仁親王

梅津大將

山田乙三大將

陸軍中將　上村清太郎
補西部（關）軍司令官　平田健吉
補關兵團同　林柳三郎
補工兵團同　豊島房太郎
補憲兵司令官　陸軍少將　佐野忠義
補陸軍戰車學校長

陸軍中將　下村定
補砲工學校長　同　鹽田定市
補東京湾要塞司令官　同　山地坦
補下關要塞司令官　陸軍少將　太田米雄
補旅順要塞司令官　同　古賀龍太郎
補對馬要塞司令官　同　風早清
補澎湖島要塞司令官　同　北川一夫
補長崎要塞司令官

### 主なる略歷

陸軍定期進級異動のうち主なる人の略歷

新大將梅津美治郎將軍は大分縣出身で五十九歳、陸軍士官學校第十五期歩兵科出身、陸軍大學を首席で卒業、支那駐屯軍司令官、師團長を經て二・二六事件

直後寺內陸相の下に次官となり昭和十三年五月北支第一線の要の重職に轉じ同十四年關東軍司令官に就き現在に至つた、侍從武官長運沼蕃中將、北支軍司令官多田駿中將、西部軍司令官中村清太郎中將らは陸軍士官學校の同期生である

◇

新大將山田乙三將軍は東京出身の六十歳、陸軍士官學校第十四期騎兵科出身、陸大卒業、士官學校長、關東軍の要職を經て昭和十四年一月畑俊六大將の後任として中支方面最高指揮官となり同年十月教育總監の重職に親補され今日に至つた、支那派遣軍總司令官西尾壽造大將、士官學校長山室宗武中將は同期生である

◇

新西部軍司令官稻葉四郎中將は東京府出身五十六歳、陸軍士官學校第十六期騎兵科出身、陸大卒業、士官學校教官、同校長を經て昭和十二年八月中將に進級、今次事變には北支、中支方面で活動し去る三月中部防衛司令官に親補されて今日に至る

◇

新西部軍司令官上村清太郎中將は秋田縣出身の五十八歳、陸軍士官學校第十五期の砲兵科出で陸大卒業後重砲兵學校長などを經て關東軍の要職に補され去る三月西部防衛司令官に親補され今日に至る

### 電話變更

マリーン八七〇二

名畑運送社

法律事務所
エヒツチ ヤング
ドミニオン・バンク建物内一〇九號室
電話變更マリン二八二五
（日本語を話します）

▲佛貨日本帝國公債——ニューヨーク相場十二弗、英貨日本帝國公債——ニューヨーク相場九十弗（クリフトン・シー・クロス會社日本人部廣告）

### 明治神宮詠進歌の兼題決定

東京一日（同盟）——恒例の明治神宮獻詠會今年の詠進歌は恰も皇紀二千六百年と神宮鎭座二十年祭に當るので兼題を「社頭祈世」と決定した、締切は九月廿日である

△營業案內▽

生徒募集（入學隨時）
△夏期休暇を利用して教授致します
アントネット洋裁學院
晩市ワーター街一〇八
電話ツリニチ五五三〇
澤田美代子

結婚及葬式用花類
中村花屋
バウエル街二七〇
電話シー五九三五

花
花束、花輪
鉢物一切
晩市バウエル街三一〇
重松花屋
電話マリーン一四一七
夜自宅ツリニテ四七九三エル

▲賣ドレスメーキング、クリーニング店急賣二百七十五弗　好位置　家賃住居付十二弗五十仙
仲介業　水原事務所
晩市バウエル街二四三
電話シーモア三四七
日本行船切符取扱店

故佐藤小六儀病氣の前の處五時市立病院にて死去致候間此段生前厚く知己諸彦に謹告仕候追而通夜は八月一日午後七時マーボール學校にて相營み葬儀は翌二日午後二時執行可仕候佛教會に於て
七月廿一日　泰平明瀬
葛原九郎　中村
鳴瀬太郎　外野芳一
四角源　大友喜久市
高嶋喜義　同一
同　マーボール學校維持會
佛語學校協會
熊本海外

Singer Sewing Machine Co.
393 Powell St.　Shop Phone Sey. 1326
新ミシン取換へに
古ミシン取換へに
本社は日本人各位の御便利の爲め各種ミシンをバウエル街シヨツプに取揃へて居ります
電話バウエル街三二六
ヤー　鶴田收藏
自宅ハイ五七六八エル

土地家屋各種登記公證手續
日英文契約證書作製
其他一般代理事務
晩市バウエル街三三四
公認　奥村事務所
電話シー二八壹貳
住宅ハイ三〇六三アール

シンガーミシン
日本人最古の經驗ある代理人から求められれば即座に修繕其他の事が間にあひ貴樣の御便利御滿足のものであります、ミシンの事は御電話次第速刻御相談にお伺ひ致します
電話ハイ五九七八アール
フランクリン街一七六六
柳澤元仁

遠山寫眞館
コロンビアスタヂオ
電話シー一七二三
自宅ヂキスター一八五〇エル
晩市メーン街三一三

御結婚寫眞には特にニューヨークに於て研究した新新なる背景と技術を用ひて本館でなくては見られぬ撮影を致します

バウエル街二三八
運送業
電話シー三五二八
山崎登太郎

越

晩市バウエル街三一八一
曾我運送店
電話マリン三六一九

パーマネント
東（スチングス街六八四
公認フリーダ美粧院
登録專美代
電話ハイ五六〇六

子供、そのまゝの可愛い表情で藝術寫眞を撮る寫眞館は「村上」
青年時代の特に作り上げたポースでなく自然の儘を撮るは「ムラカミ」
新寫場本館　メーン四三八
市マーケット向側新建物
支館　バウエル街二一四
電話マリン五六二四
村上寫眞館
自宅フエ三六二七エル

ニューケーキ
滋養百パーセント
マルテッドミルク　ケーキ
バナナ　ケーキ
特製カスターラ　六十仙
結婚式用ケーキは美味しい品を調製致します
晩市バウエル街三九二
住よし

舞踊教授所
若柳流師匠
外海トミ
アレキサンダ街四三三
電話ハイ五二二九エル

ヤマタキシー
電話シー一四一四
14-15

名畑タキシー
ハイランド〇七六五

オーケータキシー
西第二街一六七七
電話ベエビュ五九二七

高田タキシー
電話ツリニチ〇八三六
シーモア三一五七

○今回日本人タキシー業者は全部（メーター）に依つて料金を申受ける事に致しました
晩市日本人タキシ

シンガーミシン
日本人部代理人
堀謙次
西第廿街三五一
電話フエヤ一三八六エル

花
花束花輪
一切の御用は是非當店へ
晩市西第四街二三五六
（キチラノ圖書館前）
佐々木菊三郎
御小買
イーノー花屋
電話ベービュ七八八一

晩市バウエル街三三三
ハヤミラヂオ
電話シー四一二一

晩市バウエル街三三四七エル
渡邊糸子
登代

晩市バウエル街一六三
美粧院
ローズ
電話シー一九三六

吉野
晩市アレキサンダー街三六二
電話ツリニチ〇七二三

ATCM仲靜枝
晩市メーン街一九一
ピーシー州公認
渡邊琴子
電話シー五三三三

家庭常備藥下熱膏一手販賣

婦
西第六街一九三（不在中はベービュ三三四七エル）
吉原

ゴーア街四四五
渡邊
電話シーモア〇三〇八
電話フエヤ〇七五七エル

裁縫店賃度し本社營業部照會

求家庭働き娘入用家內少し高給支拂ふ電話ベー一八三九

求家庭働き娘健康体で子供好な人望むベー〇二八二エル

●求　裁縫婦人數名入用新小田

ハップス摘み大募集
入月二十五日頃決定次第發表す
△摘み賃
△群細は（出發及摘み賃、電車等）決定次第發表します
△各キャビンに電燈あり浴場水道等は皆樣の御承知の通り好都合です
△キャビンの都合上出來る丈け早く古屋の店員か左記迄御申込下さい
サーデス、ジョン・アイ・ハップス會社
日本人部主任　重山英盛
募集申込所
バウエル街一〇九
同四二三
ホーマー街四三三
ハモンド市
ミッション市
古屋商店
重山英之助店
古屋支店
古屋商店

# 近衛公と政界

七月十一日（東京）　礒波生

恩の際であり、國家の運永する頃ら新政治體制の旗を掲げて、愈近衛公が擁の山荘から乘り出して來る。行樂いざ、鈴三四日前には此の新力政治體制の樹立は政權奪取の一にするもの、如く解られることによつて、少から寸近衛公をして驚起を躊躇させてゐたのであるが、而も彫たる無理は遂に近衛公をして驚起するに至つたようである。

◆

何が然うさせたか。蓋る七日の晩に於ける公の聴取に於いて、新體制の制に關する政治流儀が一歩進んで明かにされた、即ち公は「自分の考へてゐる政治新体制は決して憲法を破壊したり、修正したりしようとするものでない」ことを明かにし、新体制の本質が「政府と軍部との突然なる一致、政界諸團の解消なる勝力、立憲政治と政府との對立的關係の消」にあることを指摘したので、從つて公の聴取を通じて政治新体制の樹立に參加すべしとの議を決して、町田總裁を始め幹部に對する勧誘に全力を盡すに至つたことは、一面何に此の政治新体制運動が有力なるかを立證すると共に、他面大に今後の民政黨の動向を注目させる。即今の勢に於てすれば、恐らくは政友會の後を追うて解黨の決意

# 傳太滿月

（22）

土師清二作

## 春愁の卷

女の獄

現の外になる相模は、肩を打ちをした。昼寝をしたすぐ、廊下を自分の座敷に出て行くなかったのだ。

「ナニッ――甘ったるい間抜けなもだ。俺がうくよ。秋風が吹けば――何のこった」

廊の襖をあけると、銀兵衛が廊へるやうに云つた。

「相模。どうだったなア」

「馬鹿なことして――」

相模は、銀兵衛の膝に、膝をぶつけるやうに坐つて云つた。

「奥が、後刻お前さまに、逢ひに来るぜ」

「俺に？　奥が逢ひに――」

銀兵衛は、愕然となつたが、

「奥でやらつて――」

「野郎、来るか。間抜！」

「奥が来いあ奴――嬉ない奴！」

「奥奴！」

「智二ずぢなも　それで――あいつ一人か」

「一人ですよ。相模の五月蠅ノ婆はゐませんよ」

「一人か。ふッひ――」

しめたぞ銀兵衛は、ほくそ笑むのだ。相手が奥一人なら仕返しが出来るぜ思つた。

それを相模が、目敏く、眼の底まで見透して、銀兵衛をからかるやうに云つた。

「この頃、お前さまを手籠めにして、廊下へ抱み出した奥が二人、待に待つてゐますぜ」

「あッはは」突如、銀兵衛は笑ひ出した。盃を突ひた。小鼓を倒ばれて割れた音がクレ鍵しに突つてゐる――笑ひ方

なる相模は、眉間な顔になつた。

「ねい、明吟――」

ぴ笑が明るはなる顔ッと銀兵衛の顔を見て云ふのだ。

「明吟、明るい晴間。鶏りかけて嬉――嬉しは、ひつかしい相手ちやございませんか。お前さま、喫せ盛、喫せ盛地を明るよりも――手がわりさうな――」

銀兵衛は、そのかずを見る見る銀兵衛の顔には、醜のいろが現はれた。

「あたしが、前さまをしてゐるぜ――は知らぬ奥が一番――」

「ふふ、ナニを云つた――どうした？」

「宵川手の――の酒の味――酒の方がとか、云ひまし――」

「それが――どうした？」

銀兵衛は、いぶかしさうな顔いろになつた。相模は、銀兵衛の太く地い腕に手を置いた。

「仕返しの場所になりませう。お前さまには、お館一番が、おわりなさン。一番の者を宵川手の遊廓に呼びこませ――奥太の奴が、酒を呑みに行く。そこを大勢で、所るなり突くなり――宵川の水鏡を喚はせるなり――お前さまの無の憂むやうにしたらようございます上」

「さうか――」大きく頷いたが、銀兵衛は、思案顔をした。

「なるほどな。いい手だ。だがの――仲間その遊廓へ、野郎が行くか、現はれるか――分るめまで？」

「いいな。俺に逢うてゐやりなさンすから？」

「奥太が来る。それも面倒なさうさう――普は逃げたの。わしは、宵川手の遊廓へ。この足で眺いて見るぜせうか」

「さうなさンせ。俺は、わたしが引出ます。俺太が、この廊敷へ来たら殺つて殺つて――遊廓を揚かせてやりいす」

「ちや、俺ア出かけべ」

と相模の肩に手をかけて引寄せて――立つた。

「門からお帰りなさンせ。その方が、面白うございます」

「殺ッ――お前さま。遊廓へ小蔵りに蔵つてお見なさンせ。俺太は遊廓と銀兵衛に――」

銀兵衛は、黙り入れられるやうに笑つた。負うた子に教へらるる銀兵衛で――あつた。二度、三度、相模を相手に遊んでゐるうちに、銀兵衛は相模の廊敷に――なつてしまつてゐた。毎日相模の体膝を相模と遊ばせてやらうと思つてゐたが、膝山は深ノ俺太に発見されて、風呂場女を呼れるやうになつた。そのため銀兵衛が相模と遊ぶやうになつた――結局かうなつたが、良かつたと、銀兵衛は思つてゐる。

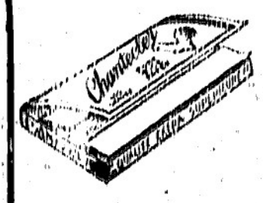
「ねえ。今日は、もう帰る？」

銀兵衛が、不満さうに、

「帰れ、といふのか。この生まで？」

「さうなの」と銀兵衛は、素直な相模のいふままになつて奥へ、廊へ出て行くのだつた。

銀兵衛を送り出した相模は、座敷に戻つて手酌で、酒を呷つた。

雅趣には
シャンチクレー
シガレット紙を
紙質が軟く薄く
糊が充分付いてゐる

最適式に紙が出てゐる
製式ブック

Chantecler
Slow Burning
CIGARETTE PAPERS


## 大陸アンテナ

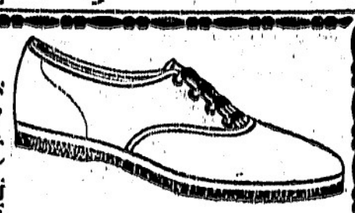
### わが里

國手酔歩

我が里は入江の奥の岸辺ひ
ふとさの港に泉水の
あふるゝばかりに湧いづる
遥かに遠き異郷より
訪れる人を絶へ間なし
夏は汀の砂浜に
若人たちの水浴びて
春は向ふの草原に
すみれの花に戯ぶ蝶ど
たはむる人も見ゆるかな
秋ふとづれて森の樹々
もみぢとなりて一時に
燃ゆるが如くこゝちよし
冬も仙境の春のごと
世にも稀なる理想郷


川出製箱會社
電話パイランド一〇九〇
夜間パイランド六〇八四エム

かすが菓子店
晩市バウエル街三五九
電話シーモア二七二九



バウエル街三五六　電話ツリ四四七七エル
名畑靴店
夏靴大賣出
婦人　良靴
一弗二十五仙ヨリ二弗九十五仙
男子用　同
二弗九十五仙ヨリ四弗七十五仙
子供ウンダレユスの見切品有り
大勉強

御披露
過去永年の間アームストロング組織で日本人各位様より多大の御引立に預つて居りました私は今回
晩市東（スチング）街一二三五
ベル葬儀社
前横浜支店として入組致しました
日本人葬儀取扱には永年の経験あり特に親切丁寧にサービス致します　何卒御用命の程御願申上ます
ベル葬儀社　ケン・ストレンヂー
電話パイランド〇〇一五

付焼鳥
誠心
晩市バウエル街二四九　電話シーモア四八八四
誠心堂
249 Powell Street, Vancouver, B.C.

錠剤　トモサン
胃腸疾患の治療と傳防に是非を又慢性胃腸病の新療法として盛に服用され夏の常備薬として各家庭で使用されます
六十仙　一弗二十仙

スペッシャル
ウッドベリアルモンド　廿五仙
ローション
ウッドベリクリーム　五十仙
特價四十七仙（七十五仙の値段）
恐らく絶後の特賣となるでせう

◇ビルダーサプライ
各種ランバー、レンガ、ドアーウインド、ネール、セメント其他建築材料一切取扱ひ安價にて販賣いたします
御住宅、鶏小屋、ペーン等の御相談を専門として居ります
電話或は葉書にて御通知下されば遠近に拘らず早速セールスマン出張の上見積御提供致します其他建築御相談に應じます
ファンリッヂ製材會社
瀧本與次郎
ビーシー州ポート（ネーソンクロック・タウンライン）ロード角　電話（ヤード）一三五エル　（自宅）同一七九

●ミル薪スペシャル
現金お買上げを願ひます
スラブ　一コード　三弗五十仙
インサイド　同　五
エヂング　同　三
二コード以上御買ひの方には割引致します
サームス・ウッドヤード
主任　佐久本盛矩
電話ハイランド三七九六

B.C. WOOD & COAL CO.
割薪値段
インサイド　一コード　六、五〇
フアー　同　半　三、五〇
ヒーター　一コード　六、〇〇
ブロック　同　半　三、〇〇
同二等品　一コード　三、〇〇
フアー　一コード　四、五〇
同三等品　同半　二、五〇
スラブ　一コード　二、〇〇
エヂング　三、〇〇
御電話下されば早速お屆けします
ウッドランド街埠頭
ビーシー薪炭
電話ハイ〇九一五
夜間ハイ三七九六

晩青坂市バウエル街三八〇
昭和倶楽部
（事務所用）電話ツリ五五二二
電話シーモア四五三三

かま製
ほこ造
こ販賣

皮膚病専門
一般諸病一切
公認電氣
治療師
イーバン、イースタブルック
治療
長野才松
電話ツリチモンド一二三九アール

和洋雑貨食料品
東洋商業會社
P.O. Box 46,
Port Essington, B.C.
主在　大橋松次郎

眼の悪い方は
眼の検査及び眼鏡の調製を専門に行つてゐる弊店の専門技師
エー・ジー・ヒルシベルグ氏
エス・エルシベルグ氏
ミルトン・ヒルシベルグ氏に御相談下さい
西（ステングス）街一一八
トーリック・オプチカル
電話シー三六二一
TORIC OPTICAL
Opposite Woodward's Dept. Stores
118 W. Hastings St.　SEy. 3621

眼の悪い方は
バウエル街三五九
前川魚肉店
電話ツリ〇三八七
同〇三八六
住宅ツリ四七八七アール

御料理すし　其他
バウエル街三六二
林家
電話ツリニテー三七〇〇

晩市ゴーア一三〇
樂々
電話ツリ二七〇六

御料理
日の丸
バウエル街二六六
電話シーモア三〇七九

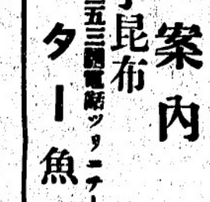
スキヤキ小料理
バウエル街三三〇
こまつ
電話シー二〇〇三

御料理
天狗
バウエル街二五〇
電話シー三五三八

鰻蒲うどん、そば、丼物一切出前いたします
バウエル街二五八
現代的料亭
つばめ
電話ツリニテー〇五六一

出前一切
惣菜料理
うどん、そば、丼物
天ぷら、
バウエル街二三三
御すし
御料理
日の出
電話シーモア〇六三七

加奈陀日本人會
晩市バウエル街三二九
電話ツリニ〇〇七二
Canadian Japanese Ass'n
329 Gore Ave., Vancouver



大工一
道具切
晩市バウエル街三六八
秋山金物店
電話ツリニテー〇二三七

新發賣
ビクター手提レヂオ
一、短波・長波何れも受信
一、AC DC 何れも使用可能
一、バテリ使用も亦可
一、アンテナ線不用
定價四十三弗卅五仙
（バテリー入り）
バウエル街三〇一　電話ツリ〇〇五五
大正堂
ミカドツランスフアー　電話スタンストン二



◆魚類
◆肉類
◆青物類
◆カマボコ
◆和洋食料品
バウエル街二六二
茶木魚店
電話ツリニテ五五四二

結婚、御祝用ケーキ
特に日本人向に調製致します
洋菓子類一切製造
晩市内は多少に拘ず配達します
バウエル街三四二
パウエル
布田惣一
電話ツリニテ五五三一
住宅西第七〇街一一九八
自宅電ランガラ〇〇六〇七エル

先祖傳來
名灸骨接筋違
男女鍼灸病一切及び子供のかんの灸
慢性胃腸病、つわり
並に婦人病
ビーシー公認マッサージ
晩市プリンセス街二四一
電話（イランド）三〇四二エル
鎌倉

正確な検査の上眼鏡をかけると眼はハッキリものごとも早く考へられます
特に現代式スタイルの眼鏡は恰好も上いです
一日も早く御相談願上ます
眼の悪い方は
西（ステングス）街六〇五
オプチカル・ハウス
専門技師ピットマン氏ローズ氏
Pitman's
Optical House
HASTINGS near SEE-MORE ST.
Phone SEY. 1071

荷物運搬は凡て確實親切勉強で好評な
晩市バウエル街四六三
運送社へ
電話ハイ一五六六

●高等南京料理
（コックは新進の腕さで料理は満腹の口に合ふやう）
美味に調理　値段は大々的勉強
晩市バウエル街三八二
新南京樓
電話シーモア七八七五

着荷案内
新かずの子昆布
バウエル街三五三
自宅電話ハイ四九七九アール
スター魚肉店

晩香坡市バウエル街
男女着類一切
澁谷商店
ツリニテー5525
三七八
三七四

男女子供靴一切
晩市バウエル街388
電話シーモア八六一九
加藤靴店
住宅　東カドバ街七九一　電話ハイ一〇九二七エム

和洋雑貨食料品
晩香坡市バウエル街八六
西村商店
電話ハイランド一三七五

薪炭販賣
熊本
電話シーモア一〇八九

晩市バウエル街四五七
電話ハイランド一六九〇
西畑ブリキ工場

晩市バウエル街三五九
電話ハイ〇四二六

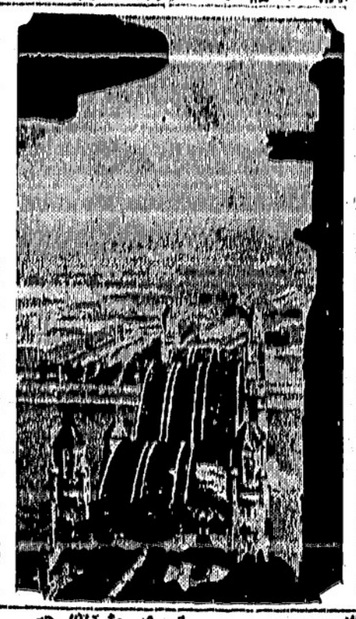
バウエル街三三二
電話シー〇八六一
大勉強致します
武藏屋
川本孝

# 英機猛撃下の西ドイツ一帯

## 吹きすさぶ血の爆風 一糸乱れぬ避難ぶり

【ベルリン廿日】 爆弾のスリルを味はつて見ようといふ旅行は禁物のいものではないが 爆撃後の旅館をつとめる英國機にイギリス機の爆撃ぶりを見て欲しいといふドイツ軍當局の案内で筆者は西ドイツの重要都市ケルン、ケインツ、ケインクンドを問なく撃墜されて行った【獨逸英雄から見たケルン市】

ドイツの心臓たるこの地帯は去る廿十日以來連日イギリス機の襲撃を受けてゐるので記者もまた旅行中は毎夜ホテルの地下室に駆け込んだ、最初の一夜はウェストファーレンの地方都市ユンスターで地下に潜る羽目となつた、聞きによればこの夜はいつも英本土から真直にオランダの上空を越して來るといふ、時刻はちまつて其夜中の十二時から三時までーロッパの夜が文字通りの闇になつた時をねらつてゐるが目撃者の爆撃の中心の位がオランダ領の防空ラインに引つかゝり何パーセントが機つて無駄なやつて來るかは判明しない、しかしイギリス機としては深夜を選ぶといふことは夜間戦闘の前哨から受ける緊張感を解けるものであらう



りだしたがユンスターの人々はもう平気だ、毛布をかついで來て地下室で寝込む婆さんもゐるし、爆撃の時なぞは新聞のわれ〳〵以外にはしない、突如として爆物がゆらいだ、ホテルの窓ガラスが震ちたらしい、爆風が家の外壁にぶつかつて來る、瓦がゆら〳〵ゆれる、それでも同じ地下室の連中は平然として

の窓、壁の動揺一家族の悲鳴もなかつた

今まで十四時の空中科學工業で著名なドゥイスブルグでは山積なるドームが破壊され小學校がやられ、スイス傭兵館も飛ばつ

ちりを食ひ五百人の市民が家を失つてゐた、デュッセルドルフは百名の死傷者を出し一つの廠場に六つの爆弾が落ちた場所もあり、停車場のまはりだけでも八十個の爆弾が降つてゐるし、ケルンでは六月廿五日以來百七十四個の焼夷弾、百四十九個の爆弾、廿一個の不発弾が八十萬の市民の頭上に降つてゐた

有名なこゝのドームは安全でゴシックの尖塔をそびやかしてゐるがこれとても破壊の物凄にさらされてゐる

それでゐて網の目のやうな鐵道と自動車道路は全く破壊されてをらず特に林立する工場の煙突は依然威勢よく黒煙の空を作つてゐる

此地帯はドイツで一番人口稠密で然も労働者の多い場所だ實際晩三時間寝入りはなを叩き起されるので西ドイツ人はみな眠くてやり切れぬといふ、但し工業能率には何等影響はない

PARTY'S ON UNLESS IT RAINS

The Powell Y.P.S. beach party will be held tonight at Spanish Banks from 7.30 p.m. if it doesn't rain, an official indicated this morning.

NANKING, Aug. 1 (Domei Radio) — Complete agreement of views was reached at informal meetings of Sino-Japanese negotiators regarding various points confirmed by the eighth session of the Sino-Japanese conference on Wednesday.

# 一万圓の夢 報國債券初抽籤

## 一等は四五一四五番

東京一日(同盟)——一萬圓の夢が開かれた第一回と第二回貸出し報國債券初の抽籤が一日戦争銀行本店で午前九時から明始された、抽籤場中央に三つならんだガラス張りの抽籤機には一萬圓の夢を盛つたアルミ製一萬個の抽籤玉が光つてゐる、胸の中で何等幸運の數字を判ずる當籤者の悲喜ひに場内は蒸せ返るやうだ、抽籤開始が宣せられ、やがて抽籤機が盛に廻り初め十萬本に一本の果報の玉は係員の手にころがつた

「第一回報國債券一等當籤番號四五一四五」

のアナウンスが終つた瞬間緊張が破れてどつと笑ひがくづれた

向一、二等當籤番號次の如し

第一回報國債券一等一萬圓(十圓券)、五千圓(五圓券)共に(四五八四五)、二等千圓、(十圓券)二七八二一五百圓、(五圓券)九二四七六

第二回報國債券一等一萬圓(十圓券)、五千圓(五圓券)共に五一二四五、二等千圓(十圓券)七八〇四、五百圓(五圓券)七五七四四

## 岐阜に陸軍飛行學校

東京一日(同盟)——陸軍では今回岐阜陸軍飛行學校及び陸軍航空通信學校をそれ〳〵新設することになり右官制を一日付官報で公布した、岐阜飛行學校は各隊より操縦候補生を派遣し、飛行機操縦に従事する像備校將校としての必要なる學術を習得せしめるもので年二回入校制度、修學期間は六ケ月、航空通信學校は通信に従事する少年航空兵及び航空關係の通信に従事する幹部候補生並に下士官候補生を教育すると共に航空通信に關する調査研究及び試験を行ひ、學制は甲乙丙丁、特殊學制の五種に分ち丁種學生は年二回、その他は年一回の入校制度になつてゐる

## 天草海女の遭難物語り

「天草海女の遭難譚」と題して珍らしい「三宅島」便り……これによると——さる日、島から三百メートルの沖で天草をとつてゐた海女數十名のうち五名が大鯨に襲はれ命からがら岩にはひ上がつて危ふく難を免れた、ところが追ひかけた大鯨は勢あまつて鼻を岩に打ちつけ即死、驚くなかれ長さ六間餘、胴廻り一丈五尺の巨體を浮き上がらせた、獲物とばかり肉を裂たり臓いたりして食つたが美味でその最何千貫、皮も何百貫にのぼるとある、九十歳以上の島の古老たちも今まで見聞したことがないと不思議がつてゐる……つまり「鯨の遭難譚」である

## 公・協・停の正札 愈よお目見得

### これで不正商も一掃

『停』と店某いし忙にへかけつ札正
札正たつ入のクーマの

(東京通信) 悪商退治の價格表示が七月入日から實施された、帝都の各商店の店頭に一齊に値札の上に公(公定價格)協(協定價格)停(九・一八停止價格)の表示マークをつけた値札がお目見得、まだつけきらない品物には店員が大あわてでいそがしい、これでいまゝで故意に正札をつけ不正の利をむさぼつてゐた業者も一掃されようといふわけ從來既製品にわづかな手を入れたり、東京になく他府縣にだけあつた製品を新製品と銘うつてのインチキ販賣もこれからは認められない、九・一八ストップ以來の實際の新製品(例へは寫眞材料)はあらためて製造元から商工省、府警視廳に價格を申請認可を得られるわけで、現在まで府にだけ申請した價格停止後の新製品は一時街から姿を消した價格表示違反者に今後は嚴罰方針でのぞむといふ警視廳では八日朝十一時半から永野經濟保安課長、同課矢野第一係長らが施行の萬全を期して銀座を振り出しに各盛り場を巡つて新價格表實施第一日の成績を視察した、銀座の某店では語る

「いまのところは"停"のマークをうたなければならないものが一番多く半數以上ですいまゝで府に申請して協定價格で通つてゐた品物が急に停止價格を表示しなければいけなくなつたりして、こゝ二、三日正札つけにはてんてこ舞ひしました、しかし工藝品などでは例へはハンドバッグなどに特殊な細工をした美術的なものので、實用品にもなるものなどは、美術品として特別に扱はれるのか實用品の中に入れられるのかむづかしい問題です」

## 蔣介石は相變らず のらりくらり

### 赤と重慶側大喧嘩

香港一日(同盟)——和戦の岐にきる延安側(中共側)の不當要求は最近特に露骨となりこのほど共産軍勢力範圍の擴大、共産軍の編成擴張、軍費の再增額、一切の反共運動の即時禁壓、安協投降論の一掃などに關する諸要求を國防最高委員會につきつけ其の折衝が目下國民黨側何應欽、張沖と中共側周恩來、陳紹禹間に續けられてゐるが、中共側の鼻息荒く何應欽は相當苦境に立つてゐる模様である

加ふるに蔣介石の態度は例の如く煮えきらず孫科、馮玉祥ら親ソ派の間には中共に對する譲歩論さへ擡頭してをり、重慶當局の姑息な態度は閻錫山、傅作義、龐鍾麟ら河北反共將領らを痛く憤慨せしめてゐる

## 印度の獨立運動

ボンベー一日——全印國民會議派はさきに印度の即時獨立解放を要求、對英抗争を開始する事となつたが、アザド同會議派議長は卅一日英政府が獨立要求に應ぜぬ場合は積極的對抗策を講ずる旨次の如く言明した

國民會議派はさきに英政府當局に對し歐洲戰争の終熄と同時に即時獨立の承認並に人民中央政府樹立を要求したが、若し英政府が右要求に應ぜざる場合は我々は何時までも拱手して待つわけに行かず、斷乎積極的手段に出でざるを得ないであらう、會議派は常にガンジー翁の指導を希望してゐるが翁が現在の情勢に鑑み指導權をとり得ないならば、國民會議派運用委員會は是が責任を負はなければならぬ

新西院佛教會

新西院佛教會では來る四日の定例説教は都合により休む、尚定期世話人會は一日繰上げ三日(土曜)午後七時より開催、全世話人の出席を希望する

## 小川・森井兩氏迎へ 禮門士同胞喜ぶ

### 盛大な日本映畫會

【レーモンド通信】七月廿三日午後三時半頃晩市の小川、森井兩氏並に新光社の露木氏一行をレスブリッヂに多數出迎へた、ホワイトランチで晝食後同市を出發自動車をつらね唐木會長を先導にレーモンドへ歸着、當地佛教會堂で全在留同胞出迎へ暫らく休憩後、松木氏の司會で講演會開催、森井氏は「日本精神の眞髄は忠孝の道」と題し、小川氏は「日本人の優秀」に關して共に熱辯を揮ひ、聴衆に多大な感動を與へた、右終つて露木氏より日本情緒豊かな映畫上映あり一同感激した、翌廿四日午前中は弘中氏の自動車で唐木會長と二人の案内で當地同胞農園の大部分を視察、正午より講演會開催、森井、小川兩氏長時間に亘り熱辯を揮ひ、當地在留に種々有益な講演があつた、午後四時より弘中氏宅で有志により歓迎會を催した、午後六時レスブリッヂ農會より小橋川、濱端兩氏迎ひに來禮、三氏を名殘惜しくも送つた、因に當地在留同胞は炎暑の折柄三氏の來訪と厚く感謝してゐる

當地方は久しく降雨がなかつたが去る廿六日より廿七日にかけ降雨あり實に慈雨であつたと農家は喜んでゐる

紙はり
僅かちを完全に塗り埋め粉塵を良質の糊を用ひ凡て丁寧和よく完全に責任を以て安價に致します
仕上後に塗り悪しき個所出来たる場合は無料にてなほします

◉御花嫁の御仕度一切
オルバーマネント無電無熱パーマネント
御結婚式に日本着振袖賃貸

花嫁様の御支度
最新式機械及び無機械のオイルパーマネント
無害毛染

御花嫁の御仕度一切
長髪、短髪及機械無各種オイルパーマネント
日本着振袖賃貸
晩市メーンスター映畫館前
十数年の実績あり(水曜全日休)

クラウン生命保險會社
晩市ローヂャス・ビル八二三
日本人總代理 矢田原一郎

AT SHIBUYA'S
Tel. Trinity 5525 374-8 Powell St. Vancouver, B. C.

澁谷の夏物クリヤランスセール
◉女物 男物 子供物 きされ地等々
◉とても安いので
◉いつも好評の
◆八月三日のサタデー迄
夏物といふ夏物は總て思切つた突飛な値段で
れ願ひして居ります
◆ごうぞひやかしかたゞ
御來店を……
澁谷商店
Gordon Mackay

# TAIRIKU NIPPO

Vol. 35 No. 10,108 THURSDAY, AUG. 1, 1940 Vancouver, B. C.


## Reuter's Writer Given Funeral

TOKIO, July 31 (Domei Radio) — The funeral for Melville James Cox, chief correspondent for Reuters news agency, who Monday afternoon died as a result of a leap from the third floor window of the Tokio gendarmerie headquarters where he was detained on espionage charges took place at St. Andrew's Church here at 5 p.m. today.

Attendants included a large number of foreign residents and Japanese friends including British Ambassador and Lady Craigie, American Ambassador Joseph Grew.

Floral tributes were sent by Director of Information Bureau of Foreign Office, Yakichiro Suma, President of Domei News Agency Inosuke Furuno, Commander Hirabayashi of Tokio gendarmerie and others.

Remains were cremated and the ashes will be sent home for interment.

"I must die" were the last words uttered by Cox to his wife when he regained consciousness following first aid administered to him.

Mrs. Cox, W. E. Cunningham, British Embassy counsellor and R. L. Cowley, British consul-general, were at the bedside when Cox breathed his last.

The tragedy is apparently traceable to too much leniency shown by the gendarmerie toward Cox who had been held on a serious charge. He was allowed not only to smoke but to take "constitutional" in the room whose windows were not barred.

On the fatal morning of Monday, his wife brought a luncheon prepared at home for Cox together with some written message. Finishing the luncheon, Cox wrote his note on the margin of the paper whereon his wife had written her message.

The guard who didn't understand English failed to sense that the note had been intended for a will. After putting his note in the right pocket, Cox started walking around the room as was usually done after every meal.

The guard apparently didn't pay particular attention to his taking exercise, when suddenly he leaped with full force from the window which had been opened to let in the cool air.

The guard to seize him but in vain, only touching his feet. It was understood Cowley commented on the note left by Cox: "It is good evidence".

## Hompa YWBA Honors Fathers at Banquet Sun.

The world may be submerged in a bitter conflict, but in the Hompa Temple where the Hompa Y.W.B.A. observed a belated Fathers' Day, Sunday evening, an air of dulcet tranquillity prevailed as four guests were entertained by two hostess members at each of a number of tables arranged neatly in the gayly decorated hall. A brief service had been conducted prior to the banquet.

Miss Misao Taguchi, acting as toastmistress, delivered the opening address welcoming the guests including the fathers of Y.W.B.A. members and the members of the Hompa Bukkyokai executive. The song, "Dedicated to the Fathers," was sung and then a hearty supper was enjoyed by all.

A speech by Mrs. R. Tachibana, counsellor of the Hompa Y.W.B.A., was followed by the presentation of gifts to those who are over 70 years of age. The gifts were cushions made by the members of the Y.W.B.A. and were presented to Messers. T. Hatanaka, M. Honda, Y. Horibe, D. Omatsu, T. Shintani, I. Suzuki and C. Wakabayashi.

The first portion of the program was brought to a close after words of thanks by Mr. M. Honda and Mr. R. Kuramitsu, vice-president of the Bukkyokai.

Mistress of ceremonies for the subsequent entertainment program was Miss Misao Hatanaka. She led the party through a pleasurable period of songs; games and lucky prize drawings

The affair finally came to an end at 9.30 p.m. and the guests dispersed in a happy mood each carrying a parcel of "kenkoku" dumplings offered them by the hostess group.

## Satoshi Nakamura Sings On CKMO Tomorrow

Satoshi Nakamura will sing over CKMO tomorrow evening, August 2, from 8.30 to 9 p.m., it became known today.

**Members of the Gakuyukai executive** are reminded of an important meeting tomorrow evening from 8 p.m. sharp at the Japanese School.


shop at.....

**T. Maikawa**

Men's Wear

Ladies' Wear

Groceries

369 Powell Street

TOKIO—At the Seventh Annual Japan - America Students' Conference which took place on July 10 to 18 inclusive in the Tsuda English College here, many problems and topics of common interest to the American and Japanese students were discussed in a serious yet frank manner. Some of the items which received airing were: various world problems of today, political aspects of Japan and America, national defence and armaments, present day vocational problems, religion and customs, national traits of the two countries, comparison of American and Japanese cultures and art and life.

The above picture was taken in the primary school on Nagata-cho where the American delegates visited during a time-out from the lengthy session.

## *Miss Fusako Yamashita Engagement Announced*

STEVESTON—Mr. and Mrs. Kamekichi Yamashita of Steveston announce the engagement of their eldest daughter, Fusako, to Mr. Minokichi Ohashi of Woodfibre. The wedding will take place shortly.

Mr. and Mrs. Tokichi Maeda and Mr. and Mrs. Tanejiro Hirose are the go-betweens for the match.

## New Times Bring New Words to Nippon

New times bring new words. Purists who, a scant few years ago, were groaning over the use of "saboru" and "gyangu" will have to practise their groans anew to cope with the present situation.

Gone is "fupii" (nee "whoopee") and not so much is heard about "abekku" ("avec" in your French dictionary), but in banishing the allegedly frivolous ideas those words connoted, the emergency only cleared the way for others.

You know what "sufu" is, of course. It means "staple fibre", from "Sutepuru Fuaiba", or originally it did mean that. Today it covers a much wider area than the textile field. So does its opposite, "jun-men", which once signified only "pure cotton".

"This coffee isn't very good," says the office girl to her friend. "It has staple fibre in it."

"Yes", agrees the friend after carefully testing the flavor. "It's been a long time since I've had a cup that was pure cotton."

It isn't that the spinning mills have entered the coffee-producing industry.

The first girl means that her cup of Java contains not a little Manchuria, while the second is sighing for coffee that is all coffee and not part soya-bean.

"Sufu-iri"—containing staple fibre—is used to describe practically any commodity that isn't 100 per cent and it is also applied to persons considered to have faulty mentalities.

In line with "sufu" is "daiyohin"—literally, "substitute goods", a term originally signifying substances meant to replace metals, leather, etc. The fellow who has no sake is likely to grumble that his "sufu-iri" coffee is such. The word may likewise be used in the case of persons.

Little Haruko uses it when she goes to the market.

"Today", she tells the vegetable man, "I'm substitute goods for Mother."

And little Haruko's elder sister may also find it handy when talking to her boy friend.

"Sumi-chan is the one you really like," she'll charge. "Im only substitute goods."

"Tanku-gata" has been heard for some time. It is a combination of the English word "tank" (the military kind) and the Nippon word "kata"—form or shape.

It is said of a man who has aggressive go-getting ways and there are instances in which it has also been said of women.

Likewise, it is the term describing the shoes many girls are now wearing—shoes having elevated heels but flat soles.

Naturally, other military terms are coming into popularity. Anything featuring speed may be called a "dengeki-sen", which is the Nipponese translation of "Blitzkrieg".

"I got my bonus Friday," sighs the salaried man, "and Saturday my creditors staged a Blitzkrieg."

"Well, we should still have a yen or so between us," consoles his pal. "Let's go to the beer hall before the supply gives out. We can do it if we use Blitzkrieg tactics."

The other brightens. Obviously, there is more than one kind of a "dengeki-sen".

Not widely heard as yet, but advancing on the colloquial front is "daigo retsu"—Fifth Column.

Last week there was a story in the Nipponese edition about a "Fifth Col-


See NEW WORDS On Back Page


## A.P. Chief Freed After Examination

TOKIO, July 31 (Domei Radio) — Military police summoned C. R. Morin, chief correspondent of the Associated Press at 7 p.m. today on the grounds that Morin sent a series of cables reporting false and groundless views in connection with the death of Melville Cox who died Monday afternoon as a result of a leap from the third floor of the Tokio gendarmerie where Cox had been examined on charge of espionage.

Morin was released late Wednesday night as Morin expressed deep apology to the military police for sending false and groundless news before confirming it and pledged to send no more such groundless news.

## Foreign Office Issues Statement

TOKIO, July 31 (Domei Radio) — Speaking on the recent Japanese arrests of Britons on espionage charges which he stated had been made in defence of the realm, Yakichiro Suma, spokesman for the foreign office, at the regular Japanese press conference this afternoon declared: "the present round-up of Britons represents a fair and reasonable measure of the Japanese Government against those who engaged in spying on secrets which vitally concern Japan."

The spokesman continued that the British government's protest against the arrests of British residents which have been made in order to eliminate espionage of Japan's secrets is out of the question.

No official information has reached Tokio regarding the interview of Japanese Ambassador Momoru Shigemitsu and British Foreign Secretary Lord Halifax.

Spokesman dismissed the version that the Japanese accusations are groundless and pointed out that full and definite evidence are in possession of Japanese authorities, substantiating their accusations although details couldn't be divulged because the case is subjudice.

Regarding the allegation that the present round-up has been directed against Britons only, the spokesman stated that it goes without saying that anyone who engages in espionage will be dealt with relentlessly irrespective of nationality.

TOKIO—In readiness to opening a branch store in Hawaii, the Mitsukoshi Department Stores called nine Hawaiian nisei girls to Tokio for the purpose of giving them a course in practical salesmanship.

These girls, who will hold executive positions heading some 150 nisei men and women who are to be employed when the Hawaiian branch opens on October 1, underwent a thorough training and returned home recently on the Kamakura Maru.

Among the group were Misses Teisuko Hino, 24, and Eiko Tanaka, 20, above both of whom are graduates of the Hawaiian University.

## Royston School Holds Graduation Ceremony

ROYSTON—A happy occasion for pupils here last Sunday was the annual graduation and promotion exercises of the Royston Japanese School.

At the ceremony, three pupils of "chutobu", Sadoko Harafuji, Yukiye Fujimoto and Kimiko Harada, and five pupils of "jinjo-ka", Sawako Sato, Yukio Tomohiro, Masayoshi Kojima, Takashi Onisaki and Tetsuo Harada were bestowed graduation diplomas. Valedictorians were Misses Sadako Fujihara and Sawako Sato.

One very bright student received a roll of honor for proficiency and good conduct, eight were honored with proficiency rolls and three were given honor rolls of good conduct.

In addition, nineteen healthy looking students were conferred honor rolls of regular attendance.

Misses Emiko Kato and Satsuko Sato represented the undergraduates in delivering parting speeches to the graduates.

At the close of the joyful affair every pupil was presented note books and pencils donated to the school by the Boshikai.

## If I Were A Nisei In Nippon Today

By Isamu Ueda

Osaka, Japan

Criticism is often directed against the nisei in this country regarding the ambiguity of his nationality as well as his allegiance. The origin of this ambiguity lies in the difference of concept regarding nationality in this country and that in the Occident. In the former, the blood relation is the deciding factor, while in the latter, it is the soil upon which the birth took place. However, further discussion on this point is irrelevant in this article, although I believe these regulations are not only unscientific but also out of date in both cases.

The second cause for the criticism has emanated from the carelessness and indifference on the part of the nisei in clarifying the issue that is adding a vicious implication to the criticism already invidious.

If, however, the nisei were awake to the present trend of the international politics, it would not be difficult for him to see that the prevailing censure in this country is not altogether unreasonable, because the world at present is vying, one nation against another, in rampant nationalism even in the Western democracies. Days of goodwill and liberal pretension have been swept off the board.

Recently we hear there is a certain movement already on foot among the nisei on the Pacific Coast and in the Hawaiian islands to induce all the nisei to clarify this dubious point to the satisfaction of the white Americans in general. But the confusion of this dual nationality was, of course directly patriotism of the fathers of the nisei who migrated to the United States or Canada, to retain the Nipponese nationality for their offspring. However, their good intentions were defeated by the fact that the nisei have their own birthright of American citizenship in apparent contradiction to this desire.

Still more recently we hear of another movement in the United States that has been initiated for revising the existing citizenship law on the ground of "presumptive repatriation" obviously directed at the nisei who come to this country.

Also, we are told of still another step being instituted, since the outbreak of the present European war, to suppress the so-called Fifth Column intrigues and "Trojan Horse" plots. These latter movements will certainly have a decided effect on the abovementioned revision.

There has been no definite step as yet taken in this country in that direction, but one may be able to guess which way the wind will blow.

I believe it will not be very long before the United States and Canada will codify a law to restrict the status and movement of the nisei, under some pretext or other, much more rigidly than at present.

From a moral and social standpoint however I personally think it is only fair for the nisei to clarify this dubious nature of his nationality and to show once and for all, to his native and ancestral countries, just where he stands, because a nation is duty-bound to extend protection to its nationals wherever they may be. Furthermore, if the nisei shows where he stands, it will not only enhance his self-respect and increase the respect of the public among which he lives, but it will be a help in eliminating discrimination in employment and business in public or in private, here as well as in America.

We know sincerity is a keynote of morality in the United States and Canada where most of the nisei were brought up and they, no doubt, appreciate this virtue, as they have come to be Americans and Canadians in the true sense of those terms. But the attitude some of the nisei take in regard to their nationality in this country can easily be misconstrued as insincere and opportunistic, despite the fact that, in these days of general economic insecurity and unsetled social conditions which probably sent the nisei to this country, unhappy circumstances may extenuate their attitude in more than one respect. And yet, if they persistently maintain this attitude, they are, I am afraid, doing so at the cost of their honor.

In other words, they are unwittingly creating causes for suspicion and contempt among the people here.

Another point which is often overlooked but distressing and to which I should like to call the nisei's attention is that, in a country like ours where the race is so homogeneous, the masses are unable to conceive nationality separated from race and a nisei claiming to be an American or a Canadian with a Nipponese physiognomy is an anomaly regardless of the


See NIPPON NISEI On Back Page



**LUX** 55 E. HASTINGS 10c TO 2, 15c TO 5 AFTER 20c TRIN. 4336

—Air Conditioned—

Playing Aug. 1, 2 & 3

"ICE FOLLIES"

Joan Crawford & James Stewart

"THE MAN IN THE IRON MASK"

Louis Hayward & Joan Bennett

Dick Tracy's G Men

"CRACK-UP"

Cartoon:

"GOOFY AND WILBUR"

—NEWS—


# Japan Offers Hand

## Tokio Reporter Broadcasts Here

H. R. Wills, Columbia Broadcasting Systems shortwave reporter broadcasting from Tokio at 2.55 p.m. Wednesday afternoon, said that although some Japanese newspapers protested the American embargo on oil and scrap iron which went into effect yesterday as directed against Japan, there were no noticeable changes in the Nippon attitude.

Rather, he said, there were indications Japan would again attempt to woo American friendship. Gissuke Ayukawa, big industrial magnate, is mentioned by the Japanese press as possible ambassador succeeding Ambassador Kensuke Horinouchi, Wills said.

The C.B.S. reporter also mentioned that Foreign Minister Yosuke Matsuoka had been educated in the United States and also that Premier Prince Fumimaro Konoye's single party movement would be successful.

## Issei Volunteer Too For Registration

A large number have already sent in applications to assist in the forthcoming national registration drive as volunteer interpreters and registration clerks, but great many more are necessary before the staff can be brought up to the required strength, it was disclosed today by the Canadian Japanese Association and Japanese Canadian Citizen's League executives.

Reports show that among the 80 odd applicants signed up to date, not a few are from the first generation group. Some of the volunteers have placed their entire time at the disposal of the registration work

As 100 more voluntary registrars are still needed in order to carry out the registration effectively and efficiently, those who feel they can be of help are asked to send in their names as soon as possible. Applications are being received by Dr. George Ishiwara at Seymour 3797, Kunio Shimizu, Trinity 0072 and the New Canadian, Trinity 0309.

Registration work will be executed in shifts to suit the convenience of all assistants.

## Ohashi Becomes Tani's Successor

TOKIO Aug. 1 (Domei Radio)—It was understood today that Chuichi Ohashi who is now on his way home from a trip to the Netherlands East Indies has accepted the post of vice-minister of foreign affairs telegraphically offered to him by Foreign Minister Matsuoka.

Formal announcement will be made in the middle of August when Ohashi returns to Tokio.

Ohashi has been vice-minister of foreign affairs and member of the privy council in the Manchoukuo government.

(Ohashi was formerly consul at Seattle.)

## Second Alberta Nisei Joins Army

COALDALE, Alta., Aug. 1—A second Alberta nisei, Harry Yoshiharu Higa has joined His Majesties' Forces it was learned today.

## To All Nations Which Cooperate

—MATSUOKA

TOKIO Aug. 1 (Domei Radio)—A diplomatic offensive will be launched by giving up the 'pat everybody on the back' policy, Foreign Minister Yosuke Matsuoka declared in amplifying his formal statement at a press interview this afternoon.

The preceding cabinets pursued a policy of co-operating with those foreign powers favorably disposed toward Japan in connection with the China Affair but excluding those which would thwart Japan's action in China.

This has been quite all right but Matsuoka declared the new cabinet intends to take the initiative to befriend as many powers as possible under the prevailing circumstances in order to carry out Japan's foreign policy.

Naturally some foreign powers would be willing to align themselves with Japan but others would not be in a position to do so.

Japan henceforth will never endeavor to shake hands with those foreign countries which refuse co-operation with herself.

Matsuoka declared a foreign policy based on the, pat everybody on the back, principle will be abandoned for good.

Questioned whether the policy of non-involvement in the European war would be affected, Matsuoka said the non-involvement policy will be adhered to for the time being as before but declined to give further comment.

A great East Asiatic sphere of common prosperity will be established with Japan, Manchoukuo and China as the mainstay and with urgent attention paid to the disposal of the China Affair but Matsuoka declared it goes without saying that the greater East Asia includes South Seas regions.

Japan aims at establishing a stabilized East Asiatic sphere wherein self-supply and self-sufficiency will prevail including not only Japan, Manchoukuo and China but also French Indo-China and the Dutch East Indies.

No further explanation of the government's foreign policy will be given said Matsuoka who, however, promised to make a more definite statement when the opportune time arrives.

## Alberta Community Enjoy Nippon Movies

COALDALE Alta., Aug. 1—The Japanese people of Raymond and Lethbridge districts on July 23 and 24 were treated to speeches given by Mr. Ogawa and Mr. Morii and also Japanese movies by Mr. Tsuyuki, all of Vancouver.

Both delivered their talks on the subjects, "Japanese in Canada" and also "The Japanese Soldiers in China". As it is so seldom the Southern Alberta Japanese have the opportunity of hearing such speeches, their talks were enjoyed to the fullest.

The pictures shown by Mr. Tsuyuki were very good. Pictures of soldiers in China, birth of the Japanese flag, the King and Queen visiting in Van-


See ALBERTA On Back Page


## Ralston Thanks Cumberland War Aid

CUMBERLAND — The local Seiyu Gakuin, Japanese school, recently received a letter of appreciation from Defense Minister Ralston in acknowledgement of the contribution in the amount of $36.20 made by the Gakuin on behalf of the Japanese residents of Cumberland.

Originally, the money was collected for the purpose of aiding Miss Jean K. McNaughton who was scheduled to go on a tour of Japan, but with her sudden decision to give up the trip, it was remitted to Ottawa through the mayor of Cumberland to be used in connection with the Canadian national defence.


SUMMER SHOE CLEARANCE SALE

| | | |
|---|---|---|
| Misses Saddle Oxfords 11 -2 | $2.35 | 1.99 |
| Growing Girls' Saddle Oxfords 4-5 | $2.35 | 1.99 |
| Ladies' White Shoes 3½-5½ | $2.95 | 1.99 |
| Ladies' Plain White Pumps 4½-6 | $4.25 | 3.60 |
| Ladies' White and Brown 2-tone 4½-6½ | 4.95 | 3.95 |
| Youngmen's White Oxfords 6-8 | 3.75 | 2.99 |
| As Above with Point -toe Winglip 5½-8 | 5.00 | 3.99 |
| Youngmen's white-tan 2-tone 6-8 | 5.00 | 3.99 |
| As above in white-brown 2-tone 6-8 | 6.50 | 4.99 |

AT K. OZAWA

244 Powell Street Vancouver, B.C.

TAIRIKU NIPPO
(The Continental Daily News)
(Established 1907)
Published at
218 East Cordova Street
Vancouver, B. C.
Phone TRinity 5633

Please address all communications to this department, "English Section," for quick handling.

Subscription: 75 cents per month.

# Disagreeable News

The week-end for us in Canada means unrestricted freedom in pursuit of happiness and relaxation whether on the beaches, in the clean mountain air beside a creek, or in the comforts of home as individual tastes desire.

However, it does not seem to be so in other lands from where reports are received of disagreeable events, usually over the weekend. Unpleasant or not, these are actualities and newspapers must report all available details to their readers.

The most disagreeable report last weekend was heard on a C.B.C. broadcast Sunday which told about the arrest of M. J. Cox and many British residents in Japan, one of them well-known in Vancouver.

Needless to say, although we have the Japanese foreign office version of the so-called "espionage" cases, Canadian Japanese may well understand the circumstances under which the charges could have been made. Japanese here have never been arrested on the charge but they have been from time to time accused groundlessly of spying. No one in his right mind, would of his own free will, risk his family, home and rights to carry on business by such treacherous acts against his resident country and the same applies to Japanese in Canada and the British in Japan.

Wednesday morning the C.B.C. reported that four Britons had been released after examination. It is our sincere hope that the others, too, will be released with a clean slate and that all matters be amicably settled by the respective representatives of the two governments.

# Canadian School Teacher Talks About Nippon

By Eulalie Wilson

(The following talk was recently given over the overseas radio broadcast directed to the West Coast of North America by Mrs. Wilson, who was born in Ontario, Canada, and is now a teacher at the Canadian Academy.)

I definitely like Japan, and when I ask myself, "Why?", the answer seems to resolve itself under a number of headings.

First of course, it is because of the Japanese people themselves. It is always a valuable experience to live among people of another country, and I believe that in the case of Japan this is particularly true. Theirs is a centuries-old culture with a marked capacity for beauty, leisure, tolerance, art, drama—all of which permeate the character of the social life.

I like Japan, too, because of its scenic beauty. "Breath-takingly beautiful" is the phrase which most adequately describes this country.

I recall conducting a newly-arrived friend from Canada to the top of the mountains that overlook the city of Kobe, and, after we had gazed for what seemed like minutes she ejaculated: "Well if were ever to see no more of Japan my trip across the Pacific would still be worthwhile."

There's Mount Fuji whose ethereal loveliness causes many a foreigner, as well as Japanese, to raise his hat each time on beholding the celestial mound.

There's Nikko with its splendid temples and avenues of stately cryptomerias. Kyoto, redolent with the air of the old Japan. Nara with its fine park and moat (the latter a survival of feudal times), and its picturesque temple and pagoda, the whole scene festooned with infinitely graceful willows.

I like Japan, too, because it is a land of enterprise, vision and initiative, whose people are not afraid to move forward with the times. When I think of the strides that these esthetic people have made in the adoption of technological improvements from our Western civilization to the benefit (in most cases) of their material welfare I cannot but be filled with admiration at this fine ability so vitally necessary to the greatness of a people.

Take Tokio, for instance, that gigantic metropolis, one of the three largest and most beautiful cities in the world—so carefully planned with the Imperial Palace and picturesque moat about it at the heart of the city and surrounded by huge business buildings, unbelievably attractive in their style of architecture so cleverly blended from oriental and occidental types. Each time I visit this busy, bustling capital I marvel again at the enterprise, courage, and industry that went into the rearing of such a city on the very site where, only 17 years ago lay the almost complete wreckage of the earthquake disaster of 1923.

I like Japan, too, because of the amenities that pervade its social fabric. Perhaps this is one of the subtlest, and yet very real charms which makes Japan a desirable place of residence for foreigners. Also, Japan is situated on the world's highway where one has the privilege of rubbing shoulders with all nationalities, races and creeds. There is a cosmopolitan atmosphere here that is both mentally stimulating and enlarging.

Then there are the trees and flowers. Truly Japan is a land of flowers, while some one has said that if the pines were taken away, Japan would no longer be Japan. Certainly these trees are one of the most distinctive features of the landscape—with their gnarled, fantastic contours. Japanese are skilled in the art of tree and plant culture. Secrets for dwarfing such trees as the maple and pine are handed down from generation to generation.

Now just a special word or two about the Nipponese ladies. They are all that one hears or reads about them—petite, dainty, with soft dark eyes, jetty tresses, exquisitely beautiful hands, and skin like cream velvet—the despair and envy of Western women desiring to use make-up effectively. For these younger-generation women are nothing if not modern in their adoption of Western cosmetics with which to enhance their natural beauty. They've gone athletic, too, and what with the fine physical training given in all schools, the feminine physique has undergone a remarkable change in the past decade or so. Daily I'm struck by the freedom of movement and independent air of the young business women whom I meet swinging along to office in their neatly-tailored Western-style costumes. It is naught for naught that they frequent the cinemas to see how their American sisters attire themselves. Little Deanna Durbin's hair-bow caught on here like wildfire with the young fry.

Many of the national dishes of Japanese food are delectable; and so attractively served. It is alway an occasion to visit a restaurant where one sits on the tatami-covered floor, surrounded by the stark simplicity of Japanese interior decoration to be served by pretty waitresses clad in gorgeous kimono. Believe it or not, raw fish cut in thin slivers and dipped in a delicious sauce is an appetizing tidbit.

If you ever visit old Nippon don't fail to look up a certain "ebi" (lobster to you) place in Osaka. Here the Master of Ceremonies, skilfully and speedily dispatches before your very eyes, huge, wriggling lobsters, and, lo, in the twinkling of an eyelash, you are being served with one of the stout fellows! First comes a soup proffered in a large shell dish with a tiny fire beneath it; then the poor fellow's brains; then a goodly portion of his beautiful raw white flesh accompanied by four different kinds of utterly ravishing sauces; then the head browned to a turn; and, finally the remainder of his carcass well boiled and accompanied by still another palatable sauce. After that if you have not entirely succumbed to the pure joy of the gastronomic occasion, you will be offered a bowl of rice, and who but the people of the Orient know how rice should be cooked?

All this washed down by hot sake (Japan's national beverage) sipped from diminutive cups, and so, by the time tea—that pale greenish-amber hot water, unsweetened and uncreamed is served to you in handleless cups, you have that aforementioned "ii kimochi" (nice feeling, you remember), only, this time it's both physical and spiritual. Verily, you drowsily cogitate, life is a goodly thing.

Yes, Japan is an enchanting spot, and I don't believe that this 20th century era of power politics and intense nationalisms can ever quite cancel out the charm of the essential Japan which has survived the long centuries from dark antiquity to the present day.

Long may it remain to bless and charm its own splendid people and the foreigners within her gates!

## Rambler's Column

# CONFUSION

By T. N. T.

There is a story of a man who was invited to a dinner at which he accidentally spilled some tea. The shock made him spill some more. Confused he hastily grasped a nearby napkin to wipe off the pool on the table cloth, but in so doing his elbow struck the end of a fork which was lying on his plate and the fork leaped into the air to land on the floor underneath his chair.

As he ducked to pick it up with his right hand, he tried to keep his balance by holding on to the edge of the table with his left hand. But unfortunately, there was a plate just where his hand sought for a grip, and the result was, the plate crashed onto the polished wooden floor together with its contents making the situation even worse and driving the miserable man into utter despair and confusion without mentioning embarrassment.

There are many similar instances wherein a person becomes panic stricken at a small blunder. In the case of a failure in business or project, the spiritual effect is more intense, and the poor soul, dubbing himself a total failure, feels so small that he gets to shrink appearing before the public believing the whole world is jeering and accusing him. When a situation reaches this stage, things become very awkward—one failure accompanies another failure; he loses his head, incurs heavy losses and in the end is even eized with an illness.

As a rule, man is prone to overestimate when it is something involving his own self. And with regard to his merits he is rather conceited. However, once he indulges in pessimism, a trivial incident appears to assume such a serious aspect that he cries, wails, resents and raises a great hubbub, and soon has not only himself but also those around him emerged in gloom and worry.

On such an occasion, his sense of judgment is completely shattered and he is bound to make more mistakes. In short, it all goes to show you it is vitally necessary for us to view a situation with a clear and calm mind in times of frustration in order to avoid further downfall.

(Continued from Front Page)

# NEW WORDS

dum shake" that created a sensation in Osaka's Yodogawa-ku. Getting itself mixed up with the equipment of a transformer station, the ropelle caused a short circuit that cut off the power in the district for both street cars and lights.

A troublesome person may get the Fifth Column designation, while at least one man was circumspect in his behavior because he said, his wife was Fifth Column agents scattered about.

The purists must have a difficult time of it. Despite their efforts for "jun-mori", the "suru" insists on creeping in and, contrary to view concerning the non-linguistic kind, it often makes a good verbal "daijobin".

And, despite the scowls of the lexicographers at such words, as long as the ordinary people can smile over them, the situation retains a certain amount of brightness.—H. T. K.

(Continued from Front Page)

# NIPPON NISEI

fact that he is legally and psychologically what he declares ne is. This is also true in Ameica to a surprising extent. There is the rub!

The world is yet man's domain and the foregoing inferences do not necessarily apply to the nisei girls, but I believe the girls are just as conscious as the boys, if not more so, as regards their self-respect and sincerity in solving this problem of nationality.

If there no tangible benefit for the boys in declaring their allegiance to this country, there must be some reason why they continue to live here.

If so, there is an obligation placed upon an individual to a society or nation in which he lives.

This is, of course, purely a moral issue, but the sooner the nisei realize its significance the better.

Last but not the least, speaking in a worldy manner, if a man is to make good in this life, he must devote a number of years to the pursuit of his career. But if he stays away from a country for more than a few years, it will necessarily obliterate his former contacts and associations, alienate him from his background and, worst of all, nullify the accumulation and continuity of his previous efforts which is essential to success in life.

Sad examples of this nature are numerous both in the past and present. Life, after all, is not such a supine mistress as to be frivolously trifled with.

From the foregoing expositions, one can easily guess what I would do if I were a nisei.

## Nisei Sports

### Golf...

Although community golfers are plentiful and good enough to hold several northwest Japanese crowns, they have not participated in the open city tournaments. The reason for that is not because our golfers are afraid to test their skill against the city's best it is because they are not members of some fine clubs owning their own links and without that membership they are barred from official meets. Finance is the obstacle preventing our golfers at the moment from joining the big clubs with other reasons. Consul Nakauchi who is a member of the Shaughnessy club is eligible to participate in any meet. Our divoteers are awaiting the time when an "angel" builds them a course of their own. May that time be not long.

### Tennis...

The Nippon Tennis Club on the other hand has been fortunate in possessing courts of their own. But everything is not what it appears on the surface for unless the club can raise a huge sum of money this year, they may lose one of their three courts through tax sales. That is one important incentive driving members to high-pressure sales on their tickets for lucky drawings. Equally important are the prizes which were decided upon to aid Canada's war effort. Selling at 25 cents apiece, War Savings Certificates valued at $25, $10 and three of $5 each, the buyer of the sweepstake tickets help not only the club to hold on, but also contribute to ensuring Canada's victory. The tennis club, like the Vancouver Asahis, are pioneers in the field of fostering goodwill through sports.

### Baseball...

Speaking of the Asahis, reminds us to remind the athletic-minded to visit Athletic Park this Saturday night when the Western Giants of Seattle play Manager Roy Yamamura's popular young team in the first of the annual three game series for the northwest championship. When we accompanied the team to Chemainus not so long ago, we gained some idea of the popularity of the Asahis. Even on shipboard, players bumped into old friends who recalled old times. In these trying times, good sportsmanship is a thing to be blessed. Asahis only ask the public to help them continue their activities enjoying the game and take part in a draw for valuable prizes for only half a dollar.

# Tennis Stars

K. Matsubayashi

Still the most colorful player in the Nippon Tennis Club is K. Matsubayashi who was caught in an awkward position by the camera. In spite of an over-decade of play, Mr. Matsubayashi retains a youthful zest for the game and in doubles is a mainstay in the second division league team which he captains. While other veterans quit Mr. Matsubayashi, together with Mr. Z. Kinoshita, Mr. T. Takenaka and Mr. S. Miyanishi, continue active interest in the club.

Mr. Kinoshita is starting his tennis school next Sunday, Mr. Takenaka is depended upon for financial and other executive chores. The younger members must be indebted further before they can take over complete charge of heavy duties which they perform.

The photographer was supposed to have snapped Matsubayashi's famous wind-mill like smash. However, he happened to go after a low ball and the shutter opened while he was pleading for the cameraman to wait.

J. Tanaka

Unsuccessful though he was in his bid for the Nippon Tennis Club Tsurumi Cup championship, Johnny Tanaka believes that the experience he gained as a finalist will stand him in good stead when the B.C. open tournament is held one month away on Labor Day weekend. Tanaka is seen above in a characteristic pose.

# Asahis Rise To Defend Title Sat.

The big game is but a few days off. Under the floodlights of Athletic Park this Saturday, the Asahis will be out to defend their Pacific Northwest championship which they have held for the past three years against the challenge of the Seattle Western Giants, in the first game of this year's series.

Latest word received from Coach Tommy Sakai of the Giants reveals that the veteran baseballer will bring up a squad of thirteen palyers for the game. Printed below are the line-ups of both teams for the all-important game. Coach Sakai has switched his regular short-stop, Su Taguchi to first base, and has brought in starry K. Mayekawa to fill the short-stop position and the clean-up spot in the batting order. Mayekawa is said to be a former player for the Bellingham Tulips in the now defunct Northwest Semi-pro League. Manager Roy Yamamura has changed his Asahi line-up right around to give more batting punch in the right places. Here's how the two teams will take the field.

| Western Giants | Asahis |
|---|---|
| Grant Kataoka, catcher | Roy Yamamura, 2nd base |
| George Kumasaka, 2nd base | Yuki Uno, 1st base |
| Shoichi Suyama, center field | Frank Shiraishi, left field |
| K. Mayekawa, short-stop | Kaz Suga, center field-pitcher |
| Su Taguchi 1st base | Mike Maruno, 3rd base |
| Art Sasaki, left field | Nag Nishihara, center field-pitcher |
| Tak Nakawatase, right field | Eddie Nakamura or Koei Mitsui, r.f. |
| Tosh Nishimura, 3rd base | Ken Kutsukake, catcher |
| Dutch Takekawa, pitcher | George Shishido, short-stop |
| **Reserves** | |
| Mush Kuroiwa, right field | Tommy Sawayama, pitcher |
| Hiram Akita, infield | George Yoshinaka, pitcher |
| R. Hada, outfield | Kay Kaminishi, infield |
| S. Arai, 1st base | Chuck Terada, infield |
| Tommy Sakai, pitcher | |

The umpires for the game will be George Vanhatten and Charlie Stevenson.

The Western Giants will be arriving in Vancouver in three cars around 6 or 7 p.m. Saturday. Accompanying the team will be Mr. Hideo Hoshide, sports editor of the Seattle Japanese-American Courier, sponsors of the Courier League, and Mr. Kay Takayoshi, league director.

Here's how some of the Giants coming up, batted in their Courier season just finished. Grant Kataoka, .360; Tak Nakawatase, .297; Shoichi Suyama .305; George Kumasaka, .160; Su Taguchi, .378; Tosh Nishimura, .304.

Who will win this year's series? Will Asahis be able to cop their fourth straight championship or will Western Giants be the team to stop the Asahi monopoly? This Saturday's game should show up the relative strength of the two teams. See you out there.

Asahis announce they have printed souvenir programs which will be sold together with the lucky number scorecards which the Athletic Park management sells. This prize drawing is in addition to Asahis own drawing for valuable prizes on admission tickets now being sold by members.

## For Worthy Cause

# Nippon Netters Aid Red Cross

**One of the largest groups of Nippon Tennis Club members ever to play in an outside meet, will participate in the tennis tournament in aid of the Canadian Red Cross to be held at Stanley Park from August 3 to 10. The tourney is open to both private club and public courts players.**

**Yoshio Matsui, club secretary, was to have handed the following names to the Vancouver Sun which is sponsoring the event:**

**Shige Yamashita, George Ide who will also team for doubles; Gus Hirano, Shige Ouye, Johnny Tanaka, Tommy Nobuoka, Bing Tanaka, Yoshio Matsui, Kinzo Fujioka, Mossy Naka, Paul Okinobu.**

**Ide, Naka and Okinobu will be entered in the junior singles. Mi Akiyama was undecided about entering.**

**Since the tournament is for a worthy cause, all club members who are free in the late afternoon, have entered the first public-private meet sanctioned by the B. C. Lawn Tennis Association, to be held here.**

# Final Net Matches End Tourney Sun.

Final matches of the men's doubles, mixed doubles, and ladies singles will be played Sunday at the Nippon Tennis Club courts. Matches are:

**Girls' Singles**

Edith Ikeda vs Fumi Desnima

**Mixed Doubles**

Chiyo Hyodo-Sam Hagino vs Kay Sasaki-K. Matsubayashi; winner plays either Lily Ide - Shige Yamashita or Tomiko Iwasaki-Yoshio Matsui.

**Men's Doubles**

George Ide-Shige Yamashita plays either Mi Akiyama - Shige Ouye or Tsutomu Iwasaki-Ichiei Negoro.

**LEAGUE MATCH POSTPONED**

Because rain extended the Nippon Tennis Club championship an extra week, Captain K. Matsubayashi has had to inform North Vancouver although the latter indicated yesterday they have a team ready to play this Sunday, that the second division tennis match will have to be postponed until August 11.

# Kokikai Plays Fuyo Softball'rs

**GAKUYUKAI SOFTBALL LEAGUE STANDINGS**

| | GP | W | L |
|---|---|---|---|
| Chichibukai | 4 | 4 | 0 |
| Fuyokai | 3 | 2 | 1 |
| Kokikai | 3 | 1 | 2 |
| Taiwakai | 4 | 1 | 3 |
| Keiyukai | 4 | 1 | 3 |

After two months of repose, the Gakuyukai Softball League is again ready to resume play and this coming Sunday Kokikai will meet Fuyokai in a long-postponed game to decide whether the former team will be given a chance to compete in the forthcoming playoffs for the magnificent Principal Sato Challenge Pennant.

If Kokikai wins, the same teams will again vie with each other in a sudden death semi-final for the right to face the league-leading Chichibukai in a two out of three game final series. On the other hand, a victory for Fuyokai clears the way for the youthful team to advance immediately into the finals.

Hence, both teams are determined to overthrow the other. But just what will be the outcome on Sunday?

(Continued from Front Page)

# ALBERTA

couver, and Haha-no-Tamashi, feature picture, were shown. The feature was very sad and had the audience in tears many times. Everyone readily admitted it was the best program to be shown in Southern Alberta.

Although this is the busiest season for the Alberta farmers, all were present and are hoping that they will see more of the same visitors this coming winter when all the farm work is done.

Go Light!

For the modern way of beating the heat, wear a Lightweight TROPICAL WORSTED SUIT.

We have smart KOOLWEAR TROPICALS in the newest shades.

SUITS tailored to measure from

$22.50 and up
2 piece suits

SLACKS $6.95

Harry's Clothes
Exclusive Tailored to Measure Clothiers
459 E. Hastings St. Vancouver, B.C.
Phone: HIgh. 2132

UNION FISH COMPANY
469 POWELL ST.
HIGH. 0335-0336

NUMONT-FUL-VUE
Beauty in Simplicity
HAJIME SUZUKI
OPTOMETRIST
377 POWELL ST.
SEY. 1185
MARINE 2036

Brighten Summer Days With Latest Style Clothes. See the Attractive Selection at

Modiste Fashion Shop

T. Shimotakahara, Proprietor
450 GRANVILLE ST.
Vancouver, B.C.
SEymour 4941